はじめて BizReporting®
ACOS-2／ACOS-4／Window 版

第 2.0 版　2025 年 8 月

日本電気株式会社

NEC \Orchestrating a brighter world

目　次

1　はじめに 3

2　環境構築編 4

2.1　BizReporting 設定前の確認 8

2.1.1システム環境変数 SYSFOL の確認 8

2.1.2サービスの確認 9

2.1.3BizReporting 環境の確認（PrintBridge と共存する環境の場合） 9

2.2　BizReporting 共通設定 10

2.2.1デフォルトプリンタの設定 10

2.2.2xln ファイルの設定 13

2.3　OPS（オンラインプリントステーション） 17

2.4　COBOL アプリケーション実行環境 18

2.4.1論理プリンタの設定 18

2.4.2サービスの開始 20

2.4.3BizReporting プリンタの設定 21

2.4.4確認方法 24

2.5　ETOSJX 連携 26

2.5.1DCS プリンタの設定 26

2.5.2BizReporting プリンタの設定 34

2.5.3確認方法 36

3　帳票設計編 37

3.1　概要 38

3.2　フォームデータの設定 41

3.2.1フォームデータの設定 42

3.2.2用紙の設定 43

© NEC Corporation 2025

3.2.3行桁の設定 45
3.3 出力情報の設定 46
3.4 動作規則の設定 50
3.5 基幹系情報の設定 52

4 付録 56

4.1 様々な帳票 57
4.1.1A3 縦用紙の帳票を A4 縦用紙に縮小して出力したい場合 58
4.1.2連続紙帳票をカット紙に出力したい場合 59
4.1.3横 13.6 インチ、縦 11 インチの帳票を連続紙プリンタに出力したい場合 60
4.1.4基幹系アプリケーションで 1 行 1/8 インチの帳票を出力したい場合 64
4.1.5プリンタ出力から PDF 出力に変更したい場合 65
4.2 環境構築チェックシート 68

© NEC Corporation 2025

1　はじめに

「はじめての BizReporting（ACOS-2/ACOS-4/Windows 版）」は、はじめての方でもご利用いただけるよう、BizReporting（ACOS-2 版/ACOS-4 版/Windows 版）の環境設定手順や VISUALFORMS for BizReporting を使用した帳票設計の手順をわかりやすくまとめたマニュアルです。

「2 環境構築編」では、BizReporting(ACOS-2/ACOS-4/Windows 版)の初期設定や、各製品の利用形態に応じた環境設定方法などを、「3 帳票設計編」では VISALFORMS for BizReporting のプロジェクト簡単設計機能を利用した基本的な帳票設計方法を説明します。
また、「4 付録」では VISUALFORMS for BizReporting を利用した様々な帳票の作成方法のご紹介と、BizReporting 環境構築時の確認用チェックシートを添付しています。

より詳細な設定方法をご覧になりたい場合は各ユーザーズガイドをご参照ください。

© NEC Corporation 2025

2　環境構築編

本章では、BizReporting（ACOS-2 版/ACOS-4 版/Windows 版）の環境設定方法について説明します。
各製品の利用形態により、以下を参照してください。

● オンラインプリントステーション経由の利用
＜対応する BizReporting＞
BizReporting Ver3.8(ACOS-2 版)　『64bit 版 BizReporting』(※)
BizReporting Ver3.8(ACOS-4 版)　『64bit 版 BizReporting』(※)
＜インストールするソフトウェア＞
ネットワークマネージャ、オンラインプリントステーション、COBOL アプリケーション実行環境
＜設定手順＞
「2.1 BizReporting 設定前の確認」
「2.2 BizReporting 共通設定」
「2.3 OPS(オンラインプリントステーション)」
「2.4 COBOL アプリケーション実行環境」

● ETOSJX 経由の利用
＜対応する BizReporting＞
BizReporting Ver3.6(ACOS-2 版)
BizReporting Ver3.6(ACOS-4 版)
BizReporting Ver3.8(ACOS-2 版)　『32bit 版 BizReporting』(※)
BizReporting Ver3.8(ACOS-4 版)　『32bit 版 BizReporting』(※)
＜インストールするソフトウェア＞
ネットワークマネージャ、ETOSJX
＜設定手順＞
「2.1 BizReporting 設定前の確認」
「2.2 BizReporting 共通設定」
「2.5 ETOSJX 連携」

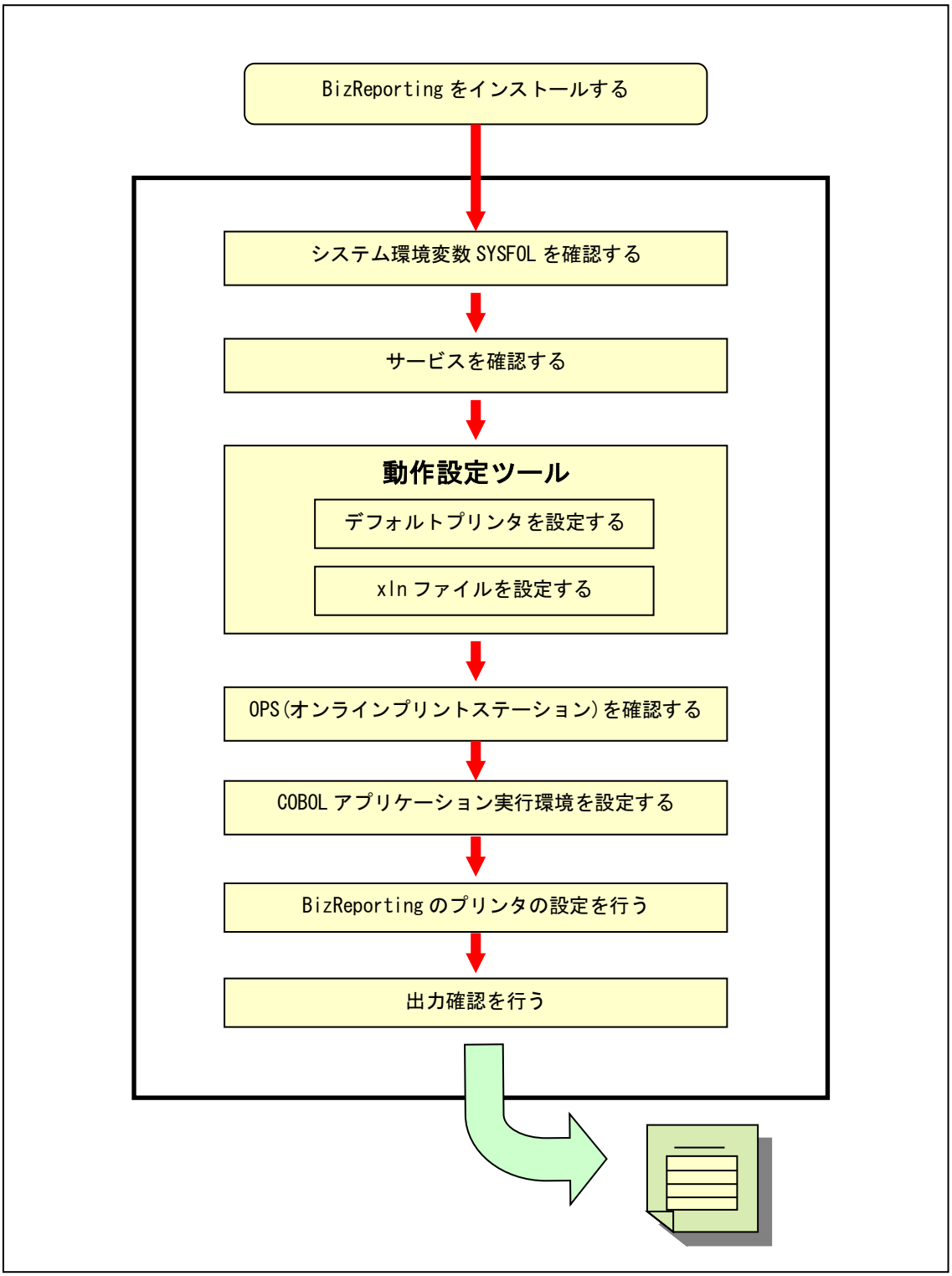
● COBOL アプリケーション実行環境経由の利用
＜対応する BizReporting＞
BizReporting Ver3.7(Windows 版)
BizReporting Ver3.8(Windows 版)
BizReporting Ver3.8(ACOS-2 版)　『64bit 版 BizReporting』(※)
BizReporting Ver3.8(ACOS-4 版)　『64bit 版 BizReporting』(※)
＜インストールするソフトウェア＞
COBOL アプリケーション実行環境
＜設定手順＞
「2.1 BizReporting 設定前の確認」
「2.2 BizReporting 共通設定」
「2.4　COBOL アプリケーション実行環境」

※　BizReporting Ver3.8 の ACOS-2 版、ACOS-4 版は 32bit で動作するアプリケーション『32bit 版 BizReporting』と 64bit で動作するアプリケーション『64bit 版 BizReporting』の 2 種類のアプリケーションを同梱しており、それぞれ 32bit で動作するソフトウェア、64bit で動作するソフトウェアと連携して動作します。『32bit 版 BizReporting』と『64bit 版 BizReporting』では、それぞれ連携可能な印刷パスが異なりますので、利用形態に応じたアプリケーションをインストールして設定してください。
なお、BizReporting Ver3.8(Windows 版)は『64bit 版 BizReporting』のみ含んでおり、64bit で動作するソフトウェアと連携して動作します。

© NEC Corporation 2025

● オンラインプリントステーション経由の利用

オンラインプリントステーション経由　BizReporting 環境構築の流れ

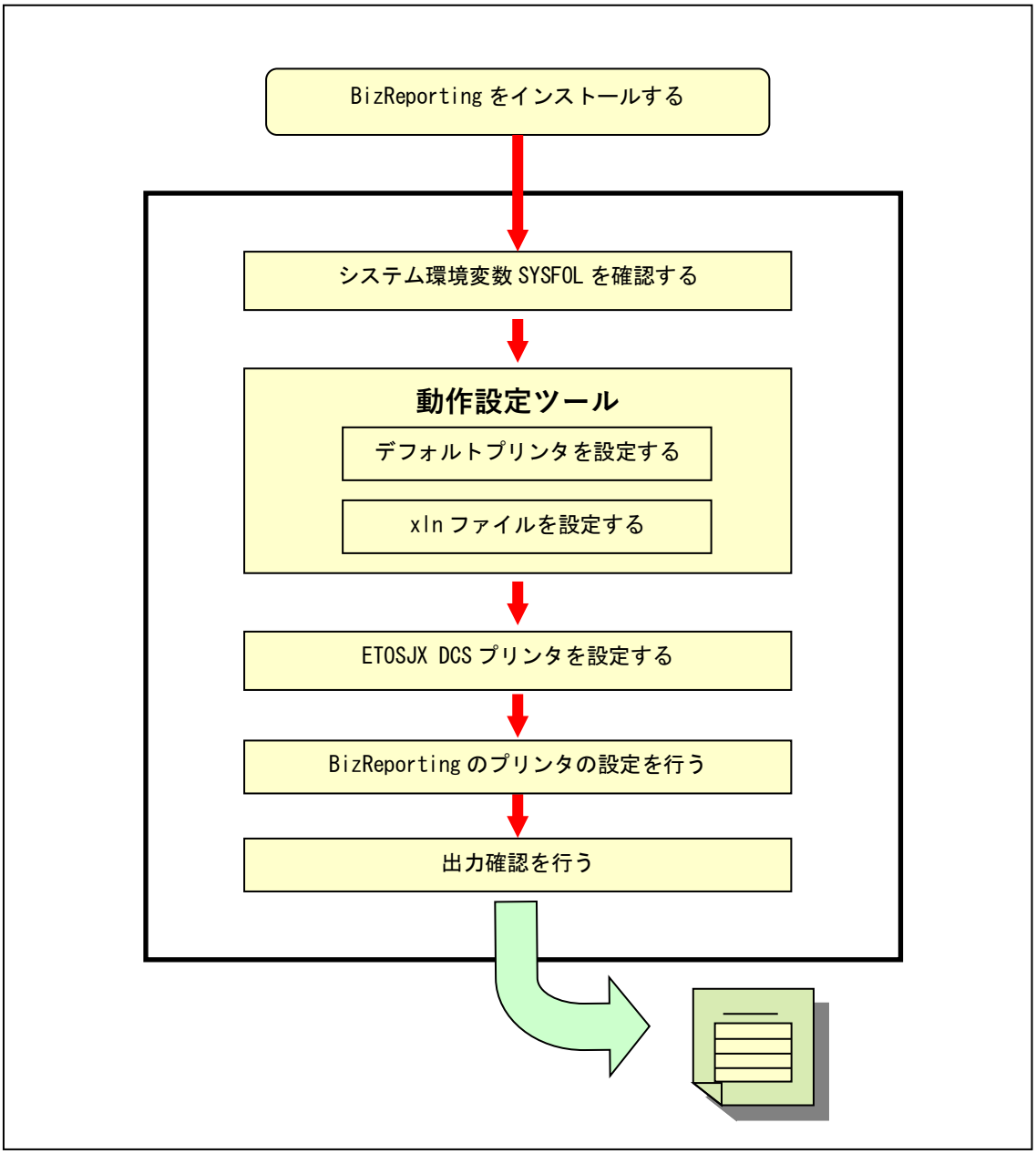


太枠内の機能について、本編で記載しています。

© NEC Corporation 2025

● ETOSJX 経由の利用

ETOSJX 経由　BizReporting 環境構築の流れ

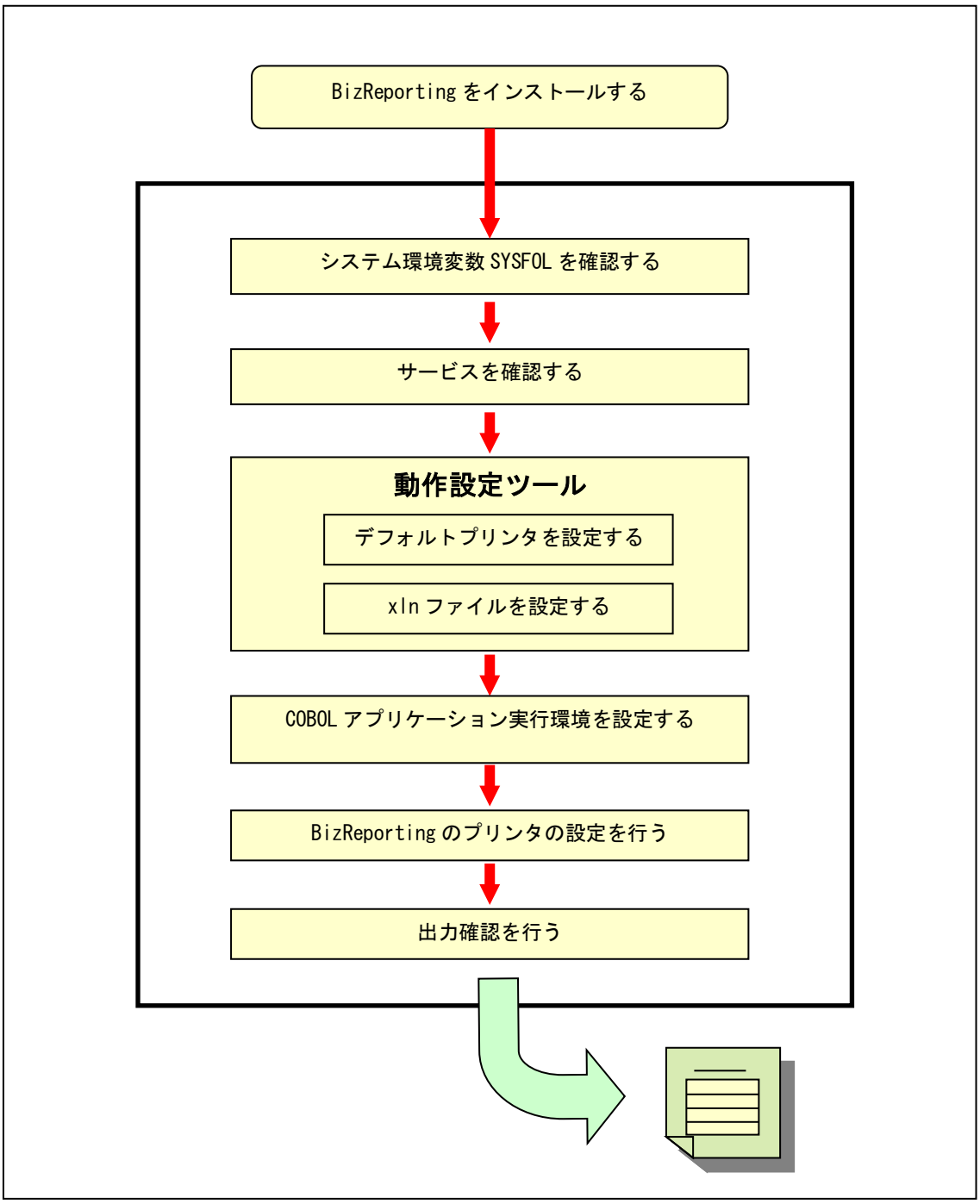


太枠内の機能について、本編で記載しています。

© NEC Corporation 2025

● COBOL アプリケーション実行環境経由の利用

BizReporting 環境構築の流れ



太枠内の機能について、本編で記載しています。

© NEC Corporation 2025

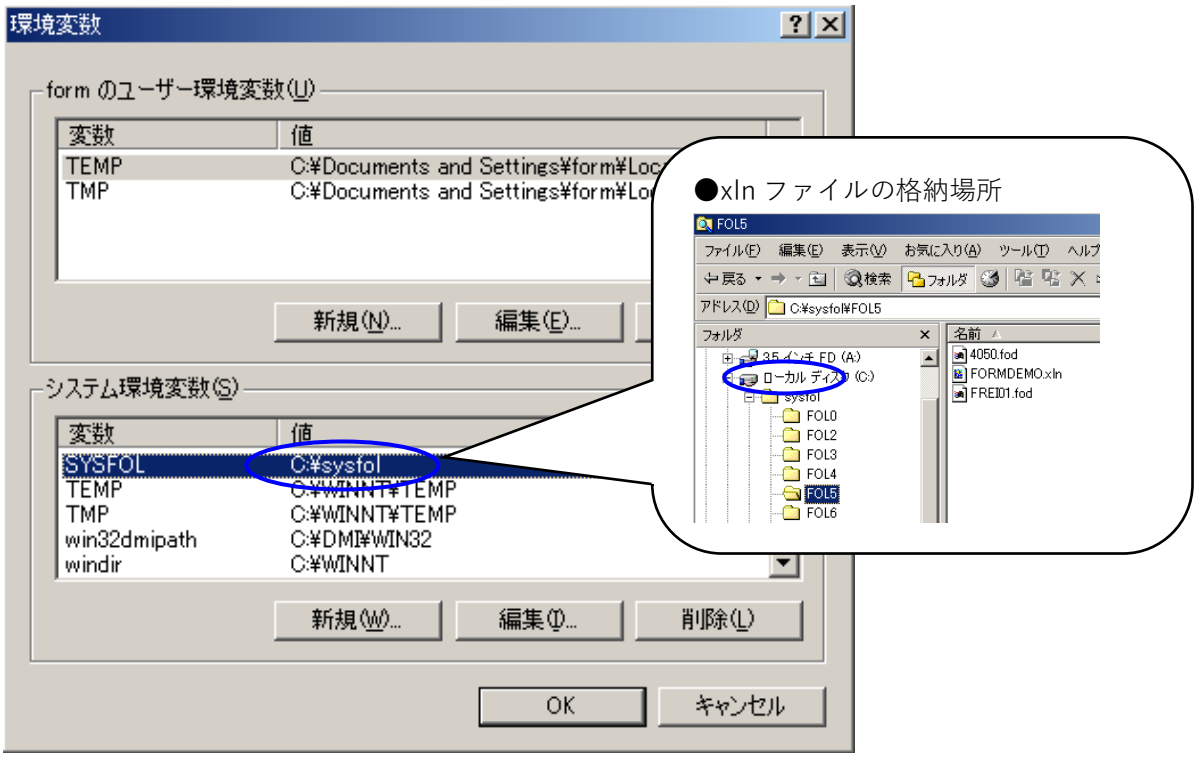
2.1 BizReporting 設定前の確認

BizReporting の設定を行う前に、以下の 3 つの項目について確認してください。

2.1.1 システム環境変数 SYSFOL の確認

SYSFOLとは、基幹系アプリケーションの指定とBizReportingで使用するXFMファイル(フォームデータ)の対応を行うxlnファイルの格納場所を定義するシステム環境変数です。xlnファイルを格納するフォルダの作成とシステム環境変数SYSFOLへの登録（システム環境変数SYSFOLの作成を含む）は、BizReportingのインストール時に行うことができます。下記の手順でSYSFOLの設定を確認してください。

「マイコンピュータ」を右クリック-「プロパティ」を開きます。「詳細」(または「詳細設定」)タブの「環境変数」ボタンをクリックします。
「システム環境変数」の「SYSFOL」に登録されているパス直下に存在するフォルダが xln ファイルの格納場所(下図参照)となっていることを確認してください。
システム環境変数に SYSFOL がない場合、または xln ファイルの格納場所が正しくない場合は SYSFOL を新規作成、または編集してください。
xlnファイルについては「2.2.2xlnファイルの設定」を参照してください。



注意

COBOL アプリケーション実行環境を利用するシステムでは、環境変数 SYSFOL にネットワークドライブを指定することはできません。

© NEC Corporation 2025

2.1.2　サービスの確認

ACOS-2版/ACOS-4版のオンラインプリントステーション経由、またはWindows版をご利用の際は「管理ツール」の「サービス」を選択し、下記のサービスが開始していることを確認してください。
開始していない場合は開始してください。
・AP Printing System Print Service
・AP Printing System Server Service
・AP Printing System Spool Manager

2.1.3　BizReporting 環境の確認（PrintBridge と共存する環境の場合）

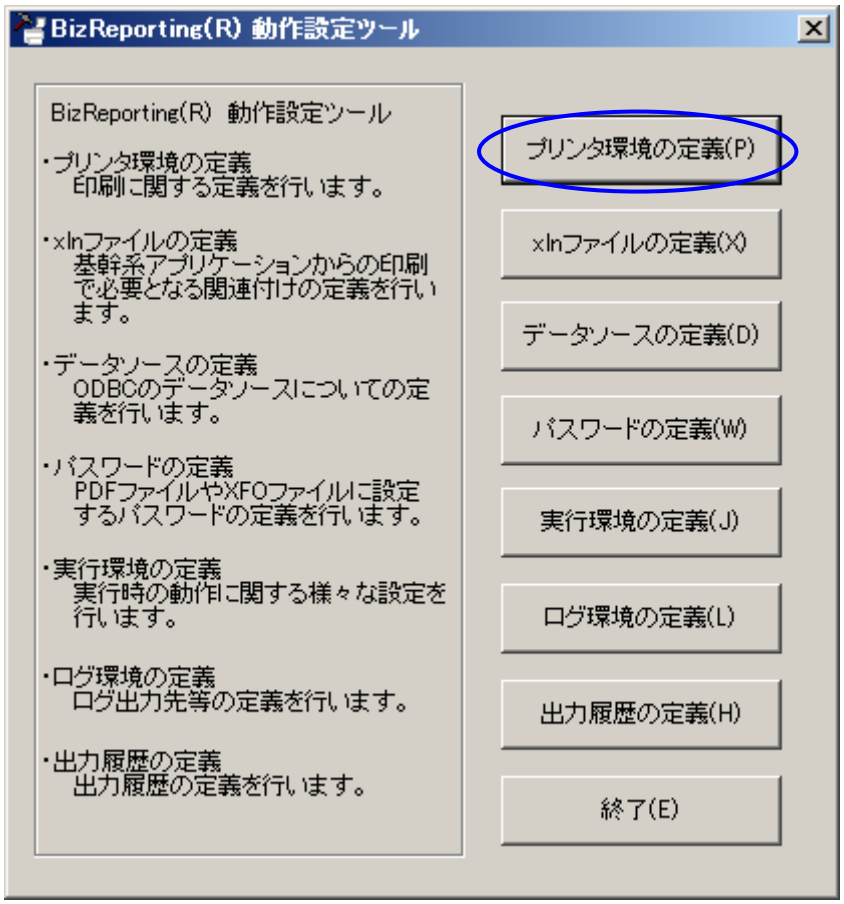
BizReporting と PrintBridge は共存してご利用になれます。
どちらか一方のみの環境にしたい場合は、必ず BizReporting、PrintBridge 両方をアンインストールした後、どちらか一方のみを再インストールしていただく必要があります。
以前 BizReporting と PrintBridge が共存していた環境をご利用で、現在 BizReporting のみの環境をご利用の場合、上記手順で BizReporting の再インストールを行ったことを確認してください。

© NEC Corporation 2025

2.2 BizReporting 共通設定

2.2.1 デフォルトプリンタの設定

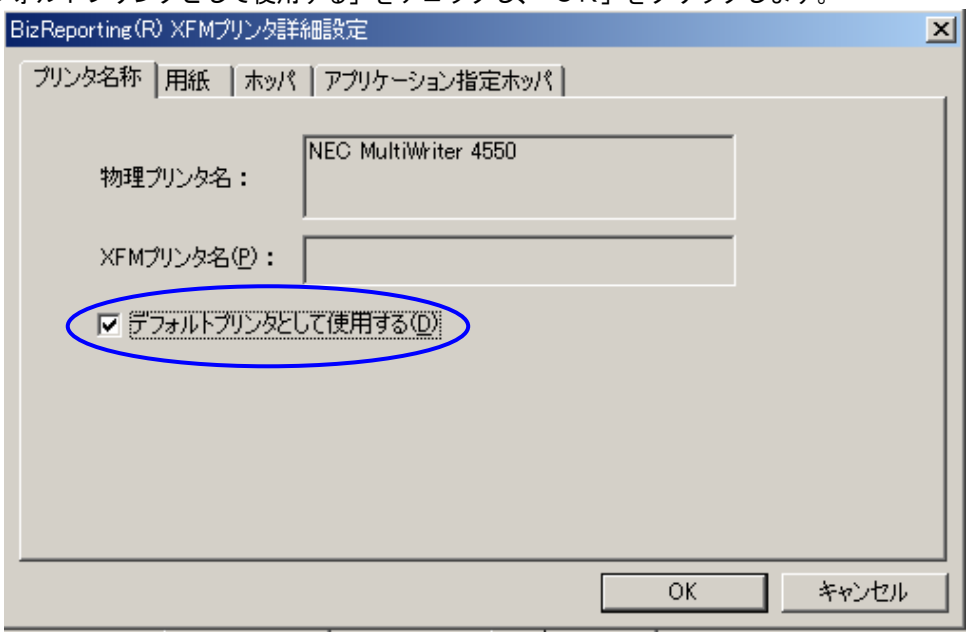
特に出力先プリンタの指定がない時に BizReporting で使用するプリンタ（デフォルトプリンタ）を設定します。
印刷を行わない場合でもデフォルトプリンタを設定します。
（１）「プログラム」->「BizReporting」の「動作設定ツール」を起動し、「プリンタ環境の定義」をクリックします。



© NEC Corporation 2025

（２）BizReporting で利用可能なプリンタの一覧が表示されます。
デフォルトプリンタに設定するプリンタを選択し、ダブルクリックします。

（３）「デフォルトプリンタとして使用する」をチェックし、「ＯＫ」をクリックします。



© NEC Corporation 2025

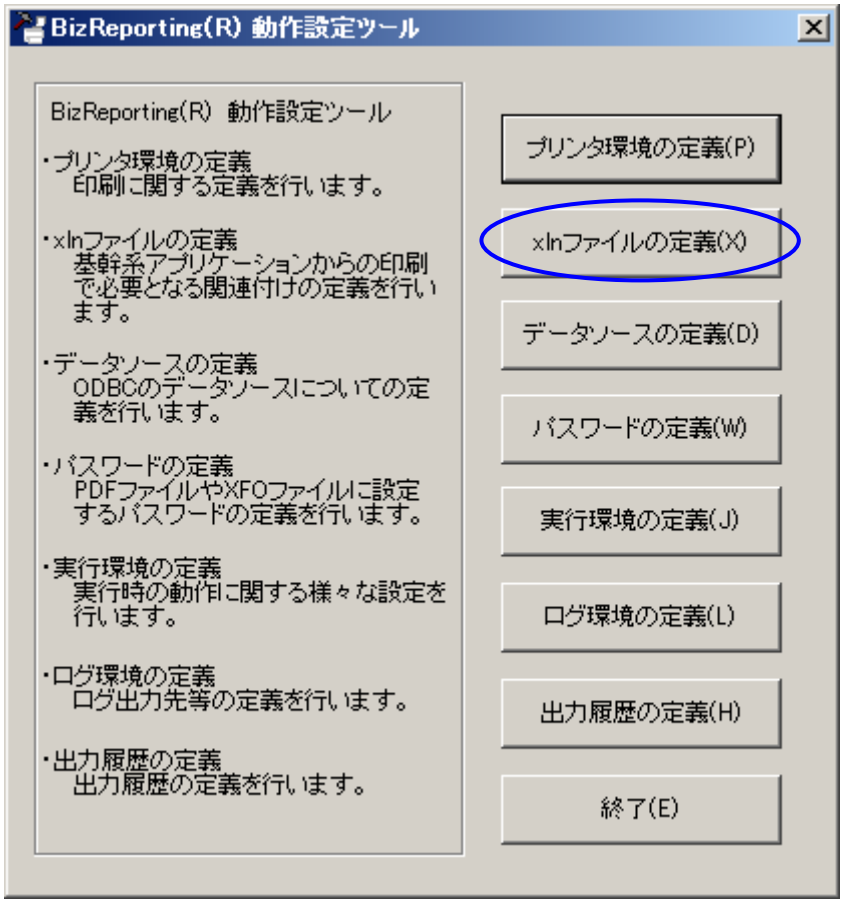
（４）デフォルトプリンタに設定したプリンタに「○」が表示されていることを確認して「ＯＫ」をクリックします。

© NEC Corporation 2025

2.2.2　xln ファイルの設定

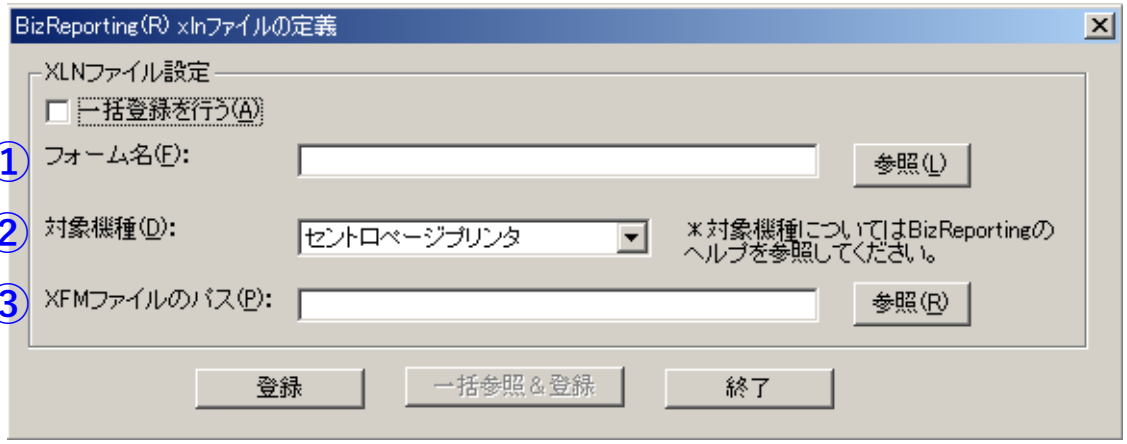
xln ファイルとは、WindowsCOBOL ソース上のメディア ID（フォーム名）、または ACOS アプリケーションのフォーム名と BizReporting で使用する XFM ファイル(フォームデータ)の関連付けを行うためのファイルです。
システム環境変数SYSFOLに登録されているパス(「2.1.1システム環境変数SYSFOLの確認」参照)直下に存在するフォルダが、作成したxlnファイルの格納先になります。
ここでは、xln ファイルの作成方法を説明します。

（１）「プログラム」->「BizReporting」の「動作設定ツール」を起動し、「xln ファイルの定義」をクリックします。



© NEC Corporation 2025

（２）xln ファイルの定義ダイアログで各項目を設定し、「登録」をクリックします。



①フォーム名

・WindowsCOBOL の場合、ソース上のメディア ID を指定します。

例）WindowsCOBOL ソース上のメディア ID の指定イメージ

```
000070 INPUT-OUTPUT                    SECTION.
000080 FILE-CONTROL.
000090     SELECT  PRNFILE   ASSIGN    TO   PFILE-PRN110-FORM1.
000100 I-O-CONTROL.
000110     APPLY SHIFT-CODE ON PRNFILE.
000120*
000130 DATA                             DIVISION.
```

メディア ID=フォーム名

・ACOS-2 の場合、JCL 文の DEFINE で設定するフォーム名を指定します。

例）ACOS COBOL ソースのイメージ

```
000080     INPUT-OUTPUT                    SECTION.
000090     FILE-CONTROL.
000100         SELECT  PR-F  ASSIGN    TO  PAGE-USEROUT.
000110     I-O-CONTROL.
000120         APPLY SHIFT-CODE ON PR-F WITH PPR-CONTROL-3.
000130    *
000140     DATA                            DIVISION.
```

内部ファイル名

例）JCL 文のイメージ

```
¥JOB DO040030,REP=NO ;
¥REPORT ROUTE=(XXXXXXXX),MEDIA=TEMP  ,SZ=10  ,PRI=5;
¥PRIVLIB SAMPLET@LM,MEDIA=SPLWK1;
¥STEP SMP1 ;
¥ASSIGN PAGE,@OUT;
¥DEFINE PAGE,FORMSET=FORM1,FH=68,PRD=8,MEDID=BBBB,NCOPY=1 ;
¥ENDSTEP ;
¥ENDJOB ;
```

フォーム名

内部ファイル名

© NEC Corporation 2025

②対象機種

移行前のプリンタ(※)の機種を選択します。

COBOL アプリケーション実行環境(「2.4.1 論理プリンタの設定」参照)、または ETOSJX(「2.5.1 DCS プリンタの設定」参照)で設定するプリンタ機種名と合わせます。

選択する機種の種類ごとに決められたフォルダに、作成したxlnファイルを格納します。

※「移行前のプリンタ」とはACOS側のアプリケーションが出力先として想定しているプリンタです。

対象機種	説明	xln 格納フォルダ
セントロページプリンタ	セントロニクス接続(BOX経由)またはLANボード接続のレーザページプリンタを、セントロページプリンタと総称します。 LCP8E、LCP30J系列、PC-PRのページプリンタ系列、MultiWriter系列のプリンタが含まれます。	FOL5
セントロドットインパクト/ラインプリンタ	セントロニクス接続(BOX経由)の日本語シリアルプリンタをセントロドットインパクトプリンタ、セントロニクス接続(BOX経由)またはLANボード接続のラインプリンタを、セントロラインプリンタと総称します。 KSP100C、CKSP130C 系列、MPP100CⅡ-B 系列、PC-PR201 系列、KLP150C-C 系列、PC-PR のラインプリンタ系列のプリンタが含まれます。	FOL8
ＳＩＦラインプリンタ	ＳＩＦ接続(BOX経由)またはLANボード接続、または拡張ネットワークプリンタサービスキット接続の日本語ラインプリンタを、ＳＩＦラインプリンタと総称します。 KLP240C系列のプリンタが含まれます。 ＊KLP170D は、BizReporting のサポート対象に含まれません。	FOL0

例）システム環境変数”SYSFOL”への登録が「D:¥SYSFOL」の場合

・xln格納用フォルダ

D:¥SYSFOL¥FOL5¥ ･･･ セントロページプリンタ用の格納場所

FOL8¥ ･･･ セントロラインプリンタ用の格納場所

FOL0¥ ･･･ SIFラインプリンタ用の格納場所

© NEC Corporation 2025

③XFM ファイルのパス
①で指定した基幹系のフォームと関連付ける XFM ファイル(フォームデータ)のパスを設定します。

注意

XFM ファイルのパスにネットワークドライブを設定する際は、BizReporting のサービスのログオンアカウントが設定したネットワークドライブにアクセス権限を持っている必要があります。XFM ファイルのパスにネットワークドライブを設定する際は、下記の手順で設定を行ってください。

1. BizReporting で使用している以下のサービスに Administrator 権限を持ったユーザアカウントを設定する。
   AP Printing System Print Service
   AP Printing System Server Service
   AP Printing System Spool Manager
2. XFM ファイルのパスに直接ネットワークパスを記載し、ネットワークドライブに上記ユーザアカウントのアクセス権限を与える。
   ネットワークパスの記載例
   ¥¥192.168.0.0¥XFM¥Form1.xfm

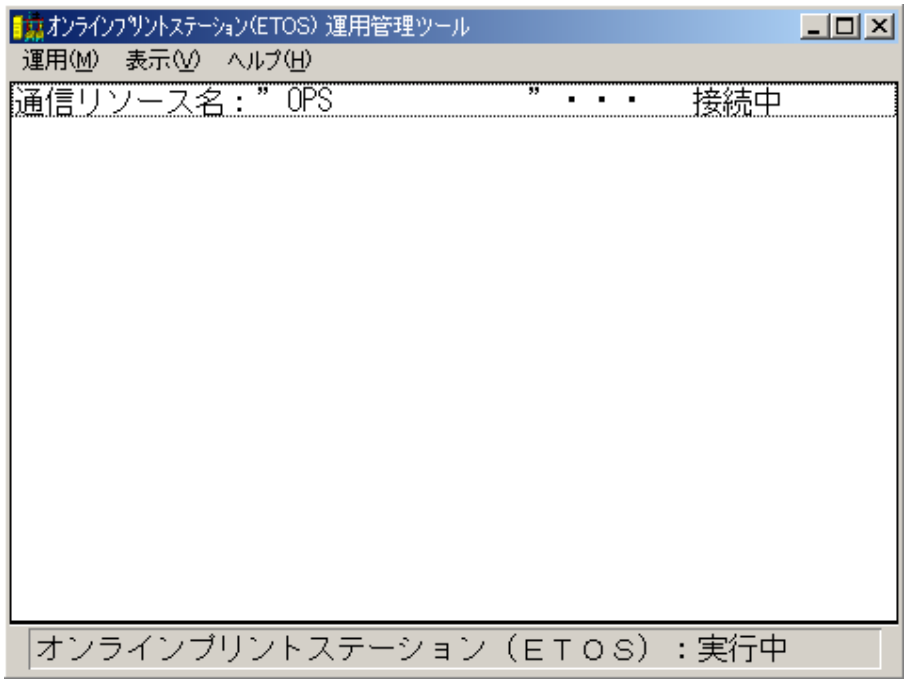
サービスのログオンアカウント変更方法については下記を参照して下さい。
・BizReporting Windows 版ユーザーズガイド
・BizReporting ACOS-2 版,ACOS-4 版版ユーザーズガイド
付録 C BizReporting の動作についての補足
(4) ネットワーク共有資源の利用について

© NEC Corporation 2025

2.3　OPS（オンラインプリントステーション）

ACOS-2、ACOS-4 よりオンラインプリントステーション経由で利用される場合は、以下の確認を行います。

（１）「プログラム」->「オンラインプリントステーション（ETOS)」の「運用管理ツール」を起動します。
　　ネットワークマネージャで設定した通信リソースが「接続中」と表示されていることを確認します。



© NEC Corporation 2025

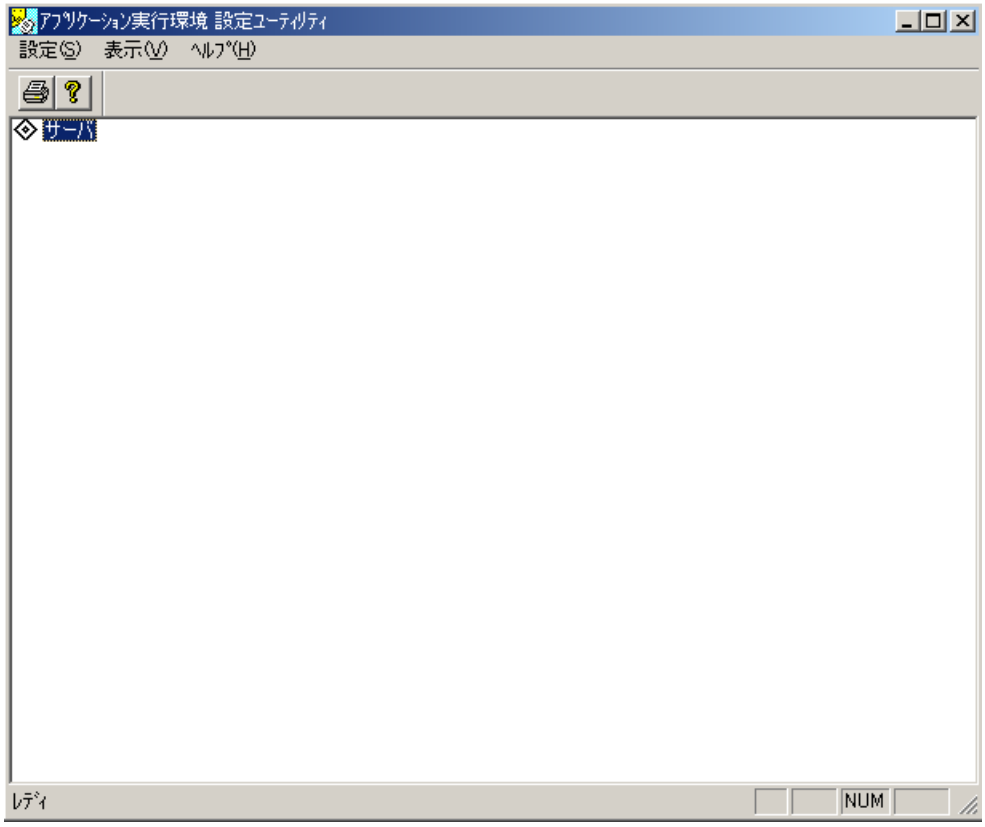
2.4 COBOL アプリケーション実行環境

ACOS-2、ACOS-4 よりオンラインプリントステーション経由で利用される場合、または WindowsCOBOL アプリケーションから利用される場合は、COBOL アプリケーション実行環境の設定を行います。
※アプリケーション実行環境の設定についても本項を参照してください。

2.4.1 論理プリンタの設定

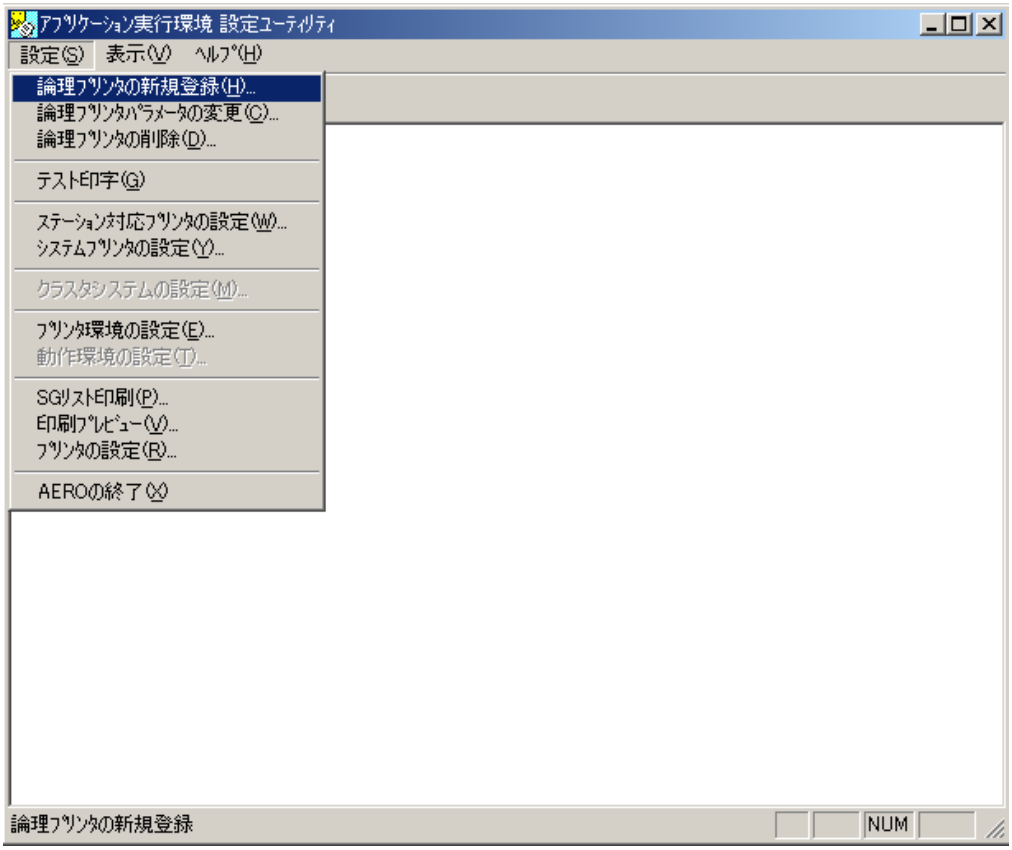
COBOL アプリケーション実行環境で論理プリンタの設定を行います。

（１）「プログラム」->「COBOL アプリケーション実行環境」の「プリンタ環境設定 AERO」を起動します。



© NEC Corporation 2025

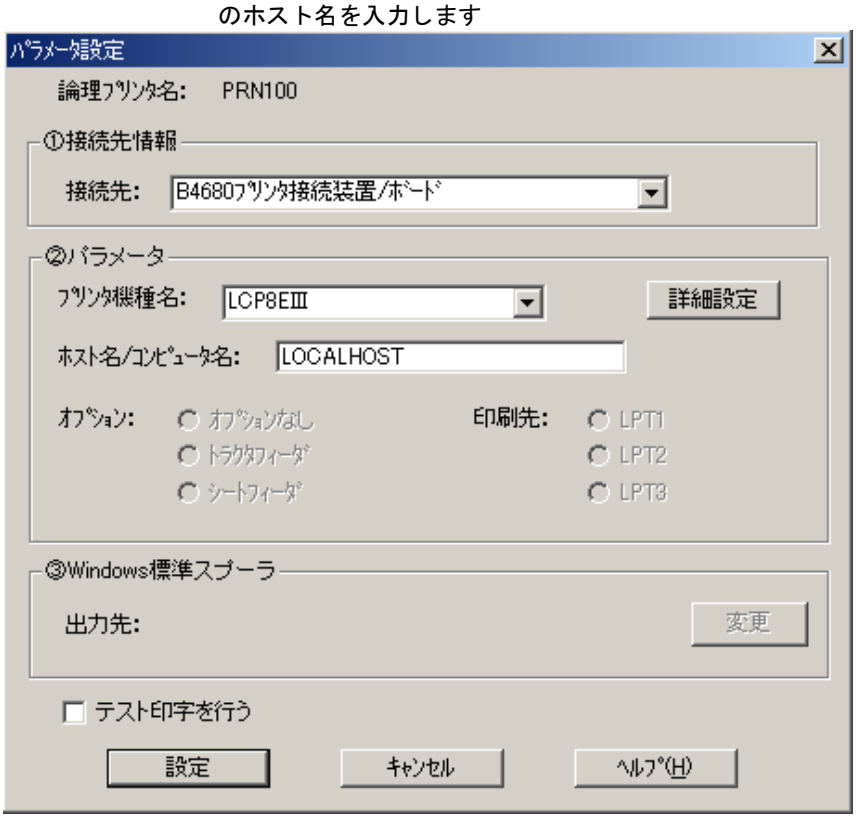
（２）「設定」メニューの「論理プリンタの新規登録」をクリックします。



（３）「新規登録」ダイアログで「PRN」に 100 番台を入力し「ＯＫ」をクリックします。

© NEC Corporation 2025

（４）「パラメータ設定」ダイアログで以下の設定を行った後、「設定」をクリックします。
接続先：「B4680 プリンタ接続装置/ボード」を選択します
プリンタ機種名：移行前のプリンタを指定します
ホスト名/コンピュータ名：LAN接続の場合は、LANボードのホスト名を、マシン直結の場合は、マシンのホスト名を入力します



メモ

・接続先が「B4680 プリンタ接続装置/ボード」の論理プリンタが既に設定されている場合は、既存の論理プリンタを利用することができます。

2.4.2　サービスの開始

[管理ツール]の[サービス]を選択し、以下のサービスを開始します。

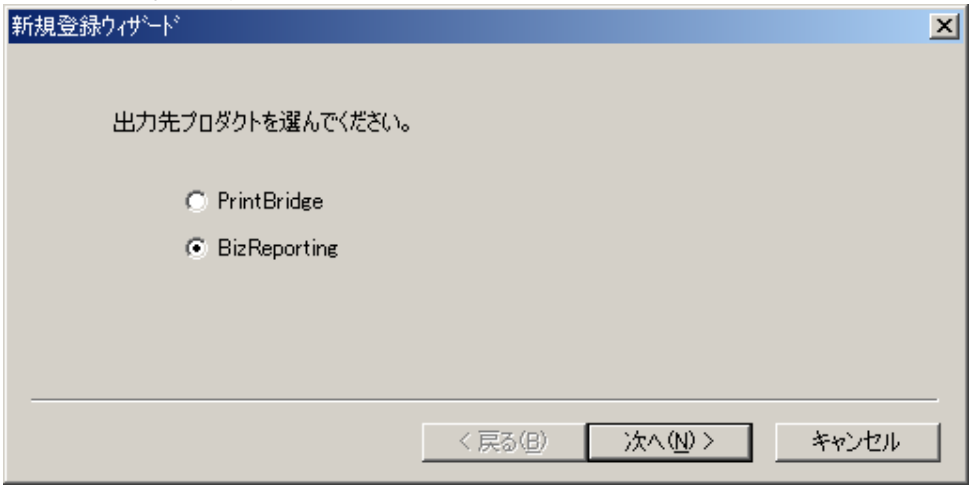
・AP Printing System Print Service
・AP Printing System Server Service
・AP Printing System Spool Manager

© NEC Corporation 2025

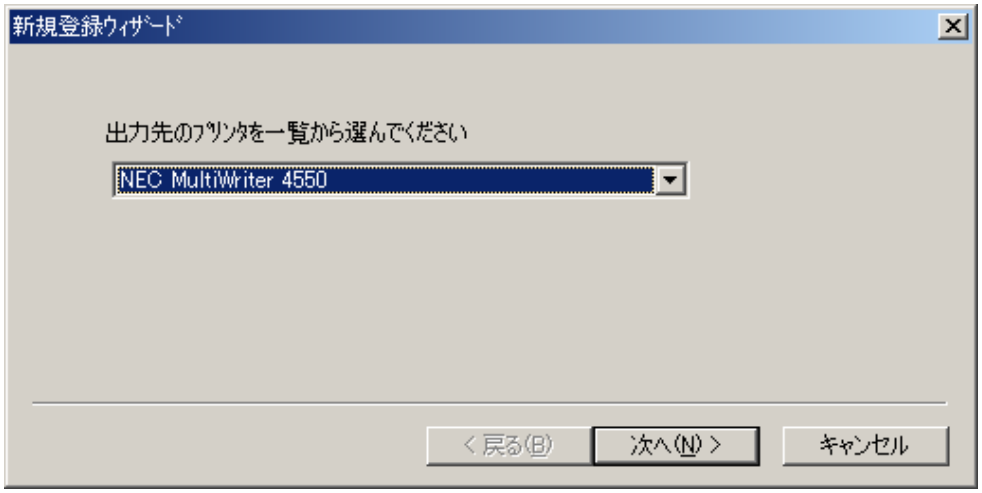
2.4.3　BizReporting プリンタの設定

「2.4.1 論理プリンタの設定」で設定した COBOL アプリケーション実行環境の論理プリンタと Windows 側のプリンタの関連付けを行います。
関連付けを行うことにより、論理プリンタに出力したデータが、Windows 側のプリンタに出力されるようになります。

（1）「プログラム」->「BizReporting」の「プリンタ設定ツール（PICMIN）」を起動します。
PrintBridge と BizReporting を両方インストールしている場合は、出力先プロダクトの選択画面を表示します。
この場合、「BizReporting」を選択し、「次へ」をクリックします。



（2）「2.4.1 論理プリンタの設定」で設定した移行前のプリンタに関連付ける Windows 上のプリンタを選択し、「次へ」をクリックします。

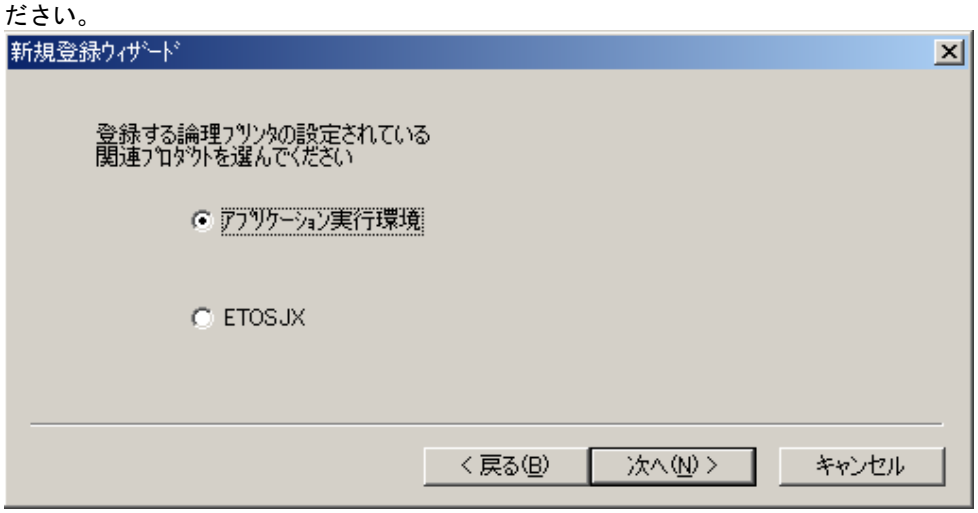


メモ

出力先のプリンタで「Default」を選択した場合は「2.2.1 デフォルトプリンタの設定」で設定した BizReporting の Windows 側のプリンタが利用されます。

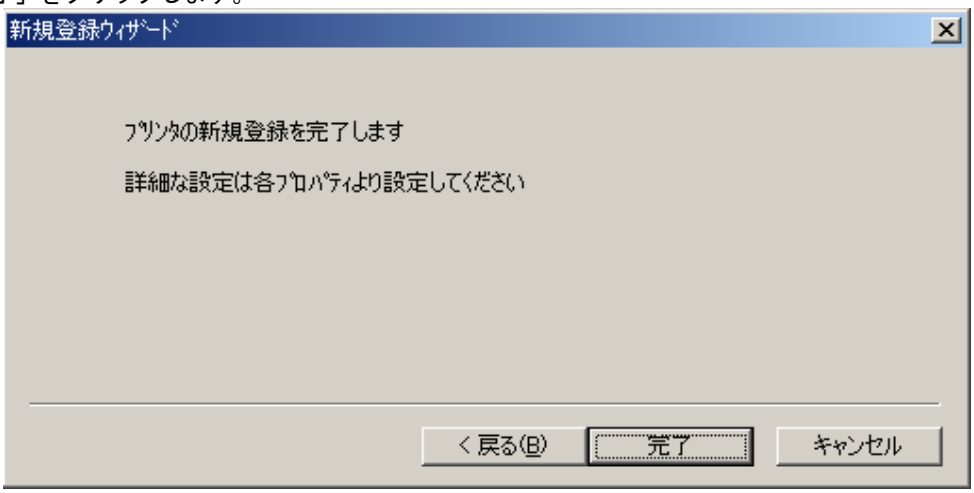
© NEC Corporation 2025

（３）関連プロダクトの選択画面が表示された場合、「アプリケーション実行環境」を選択し[次へ]をクリックしてください。



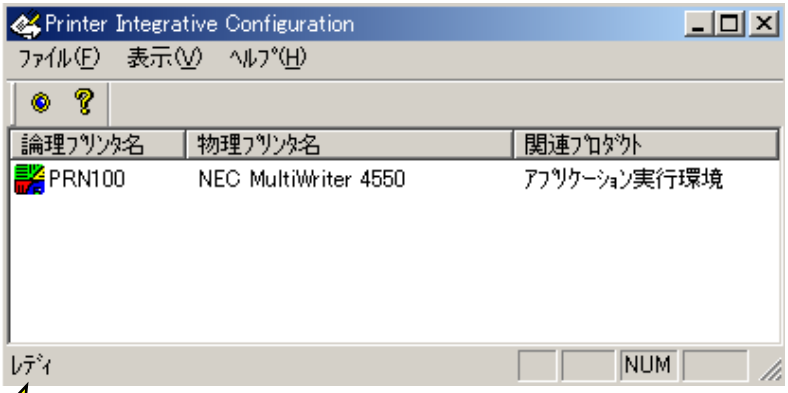
（４）論理プリンター覧から「2.4.1 論理プリンタの設定」で設定した論理プリンタを選択し、「次へ」をクリックします。

（５）「完了」をクリックします。



© NEC Corporation 2025

（６）登録内容が追加されたことを確認します。



注意

ネットワーク共有プリンタを使用する場合は、ネットワーク共有プリンタにアクセスする権限を持つユーザアカウントを以下のサービスのアカウントとして設定してください。

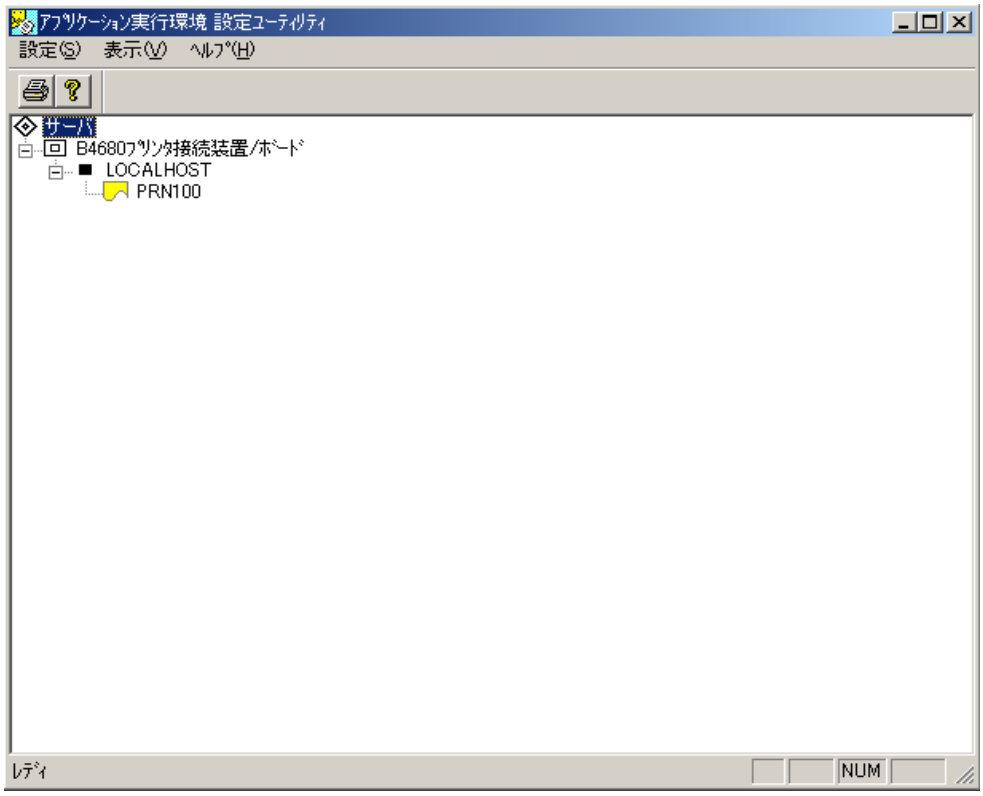
- AP Printing System Print Service
- AP Printing System Server Service
- AP Printing System Spool Manager

© NEC Corporation 2025

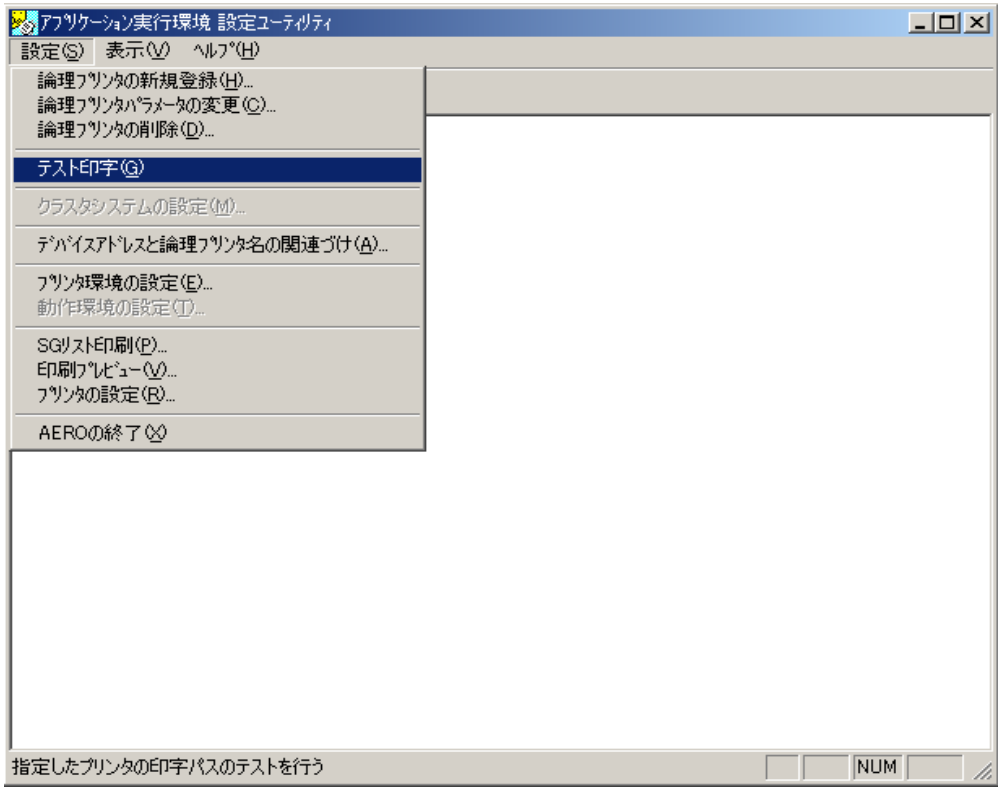
2.4.4　確認方法

COBOL アプリケーション実行環境の設定が正しいか、以下の手順で確認します。

（１）「プログラム」->「COBOL アプリケーション実行環境」の「プリンタ環境設定 AERO」を起動します。



（２）論理プリンタを選択し、「設定」メニューの「テスト印字」をクリックします。



© NEC Corporation 2025

（３）確認画面で「ＯＫ」をクリックします。

（４）「2.4.3 BizReporting プリンタの設定」で設定した Windows 側のプリンタに出力されることを確認します。

© NEC Corporation 2025

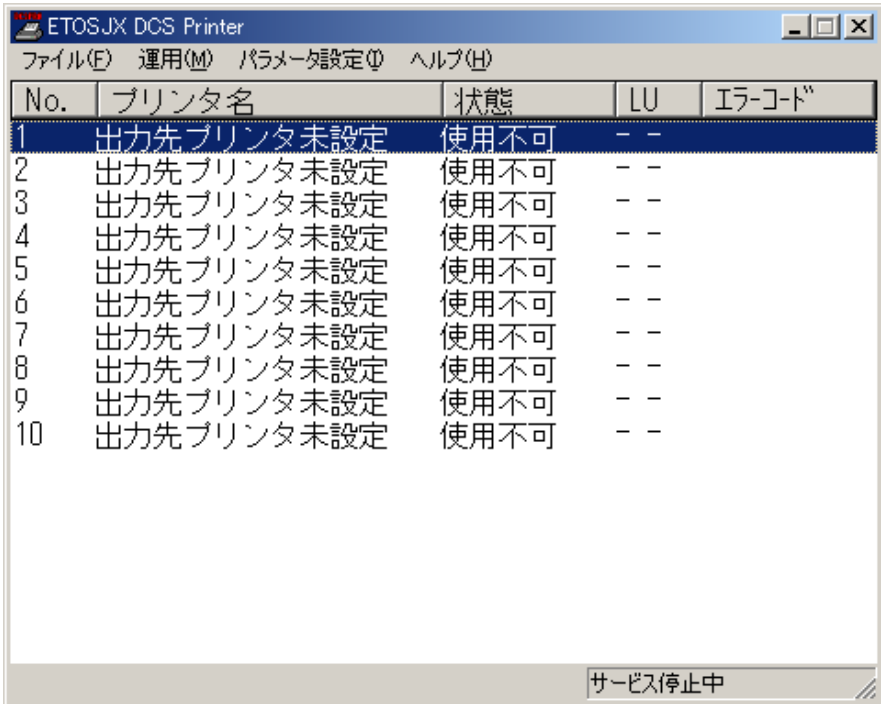
2.5 ETOSJX 連携

ACOS-2、ACOS-4 より ETOSJX 経由で利用される場合は以下の設定を行います。

※ここでは ETOSJX Ver5.0 のイメージを記載します。画面の相違がある場合はご了承ください。

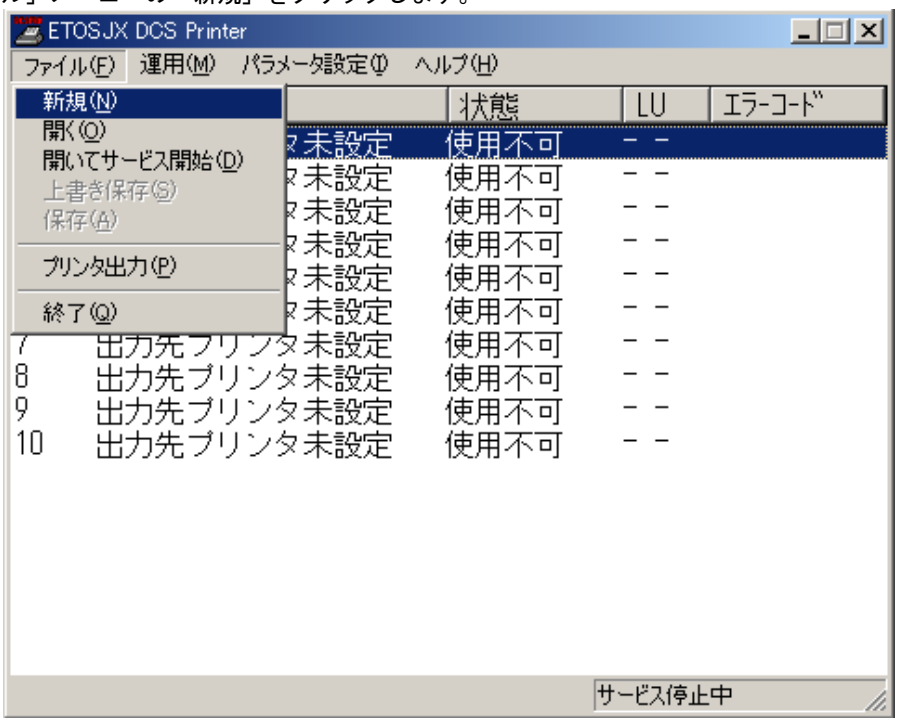
2.5.1 DCS プリンタの設定

（1）「プログラム」->「ETOSJX アプリケーション」の「DCS プリンタ」を起動します。

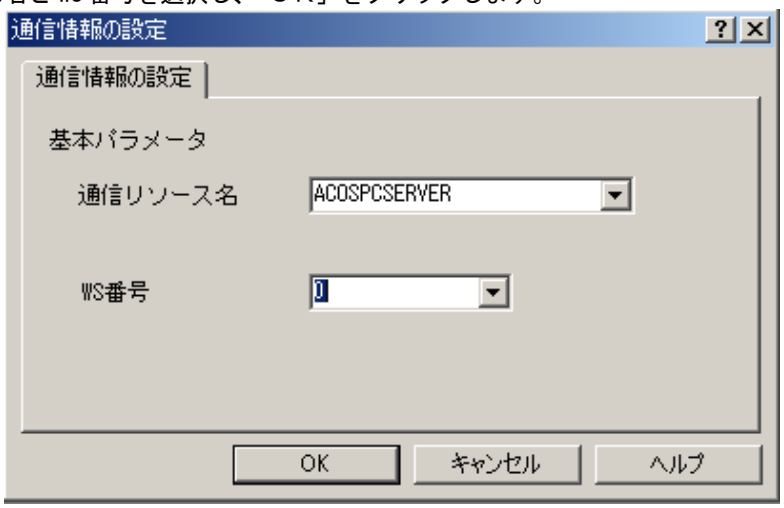


© NEC Corporation 2025

（２）「ファイル」メニューの「新規」をクリックします。

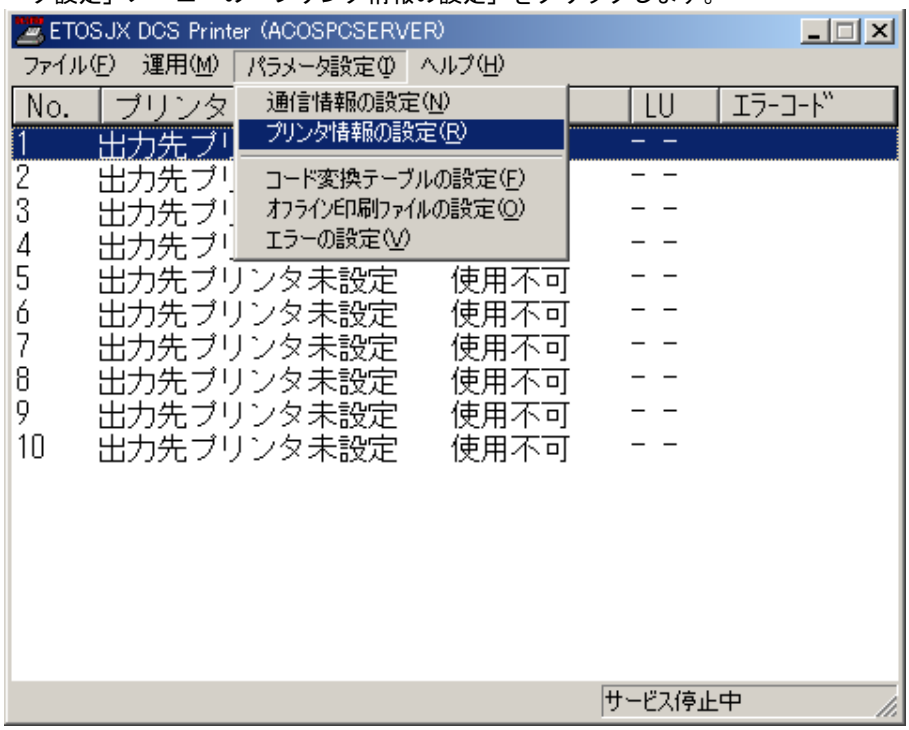


（３）通信リソース名と WS 番号を選択し、「ＯＫ」をクリックします。

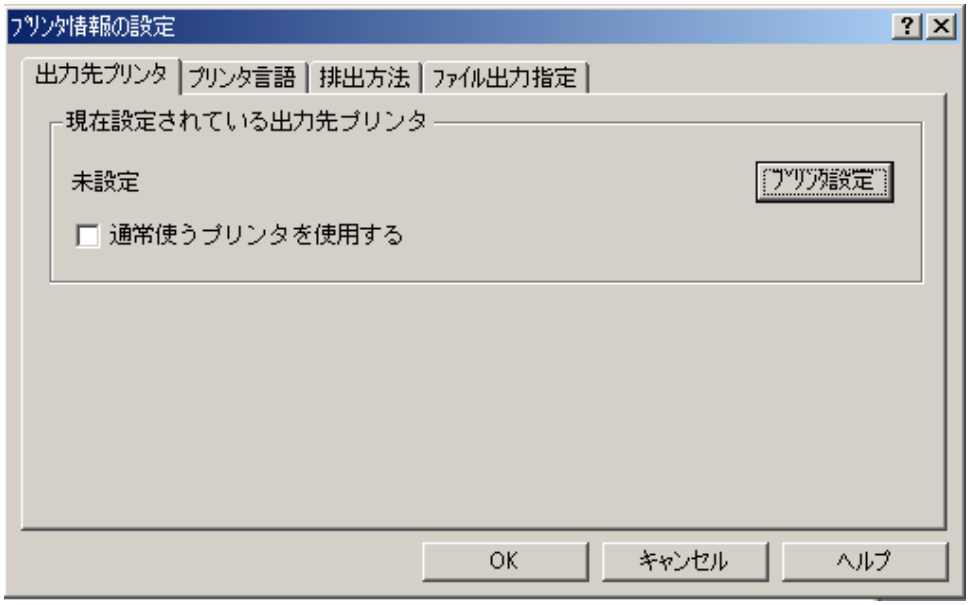


© NEC Corporation 2025

（４）「パラメータ設定」メニューの「プリンタ情報の設定」をクリックします。

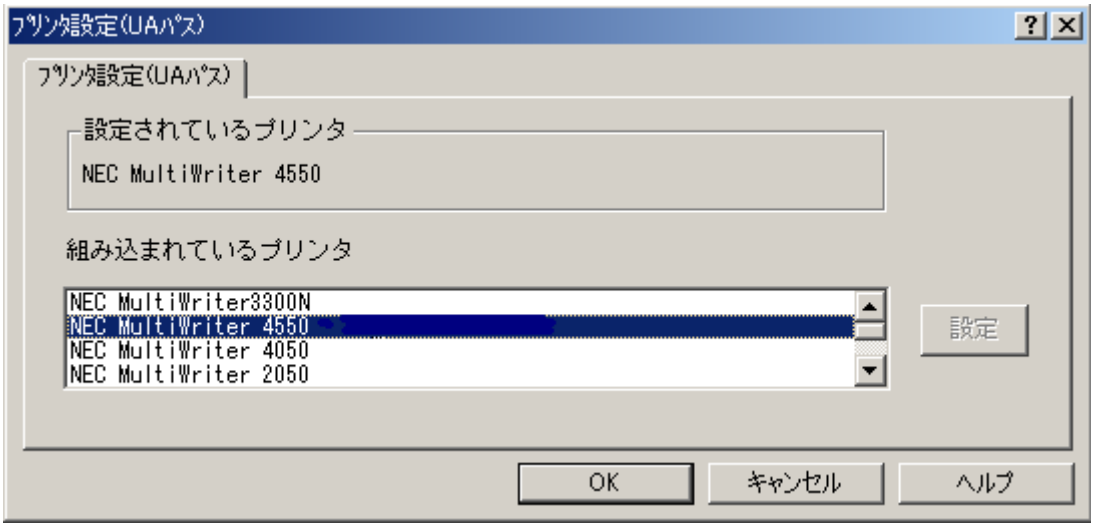


（５）「出力先プリンタ」の設定を行います。
「プリンタ設定」をクリックします。



© NEC Corporation 2025

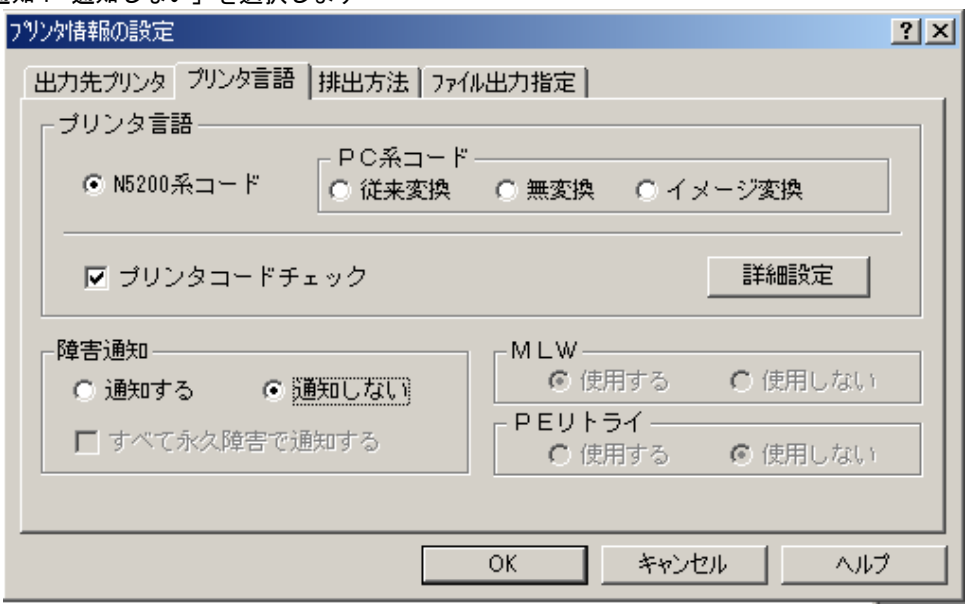
（６）出力する Windows 側のプリンタを選択し、「ＯＫ」をクリックします。



注意

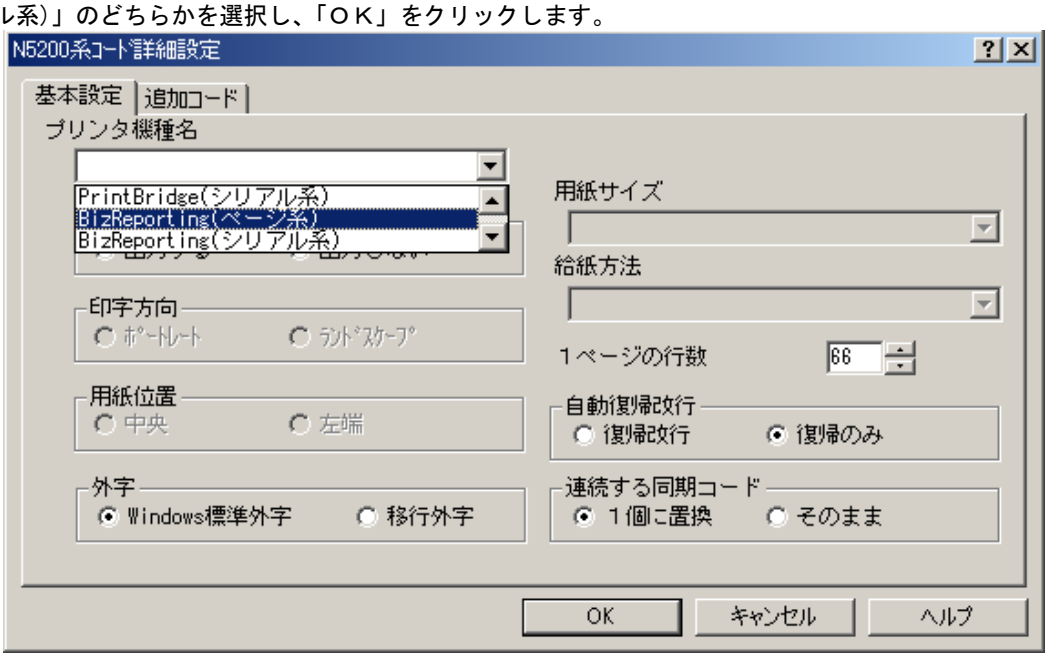
「2.5.2 BizReporting プリンタの設定」と同じプリンタを設定する必要があります。

（７）「プリンタ言語」タブをクリックします。以下の値を設定し、「詳細設定」をクリックします。
プリンタ言語：「N5200 系コード」を選択します
障害通知：「通知しない」を選択します



© NEC Corporation 2025

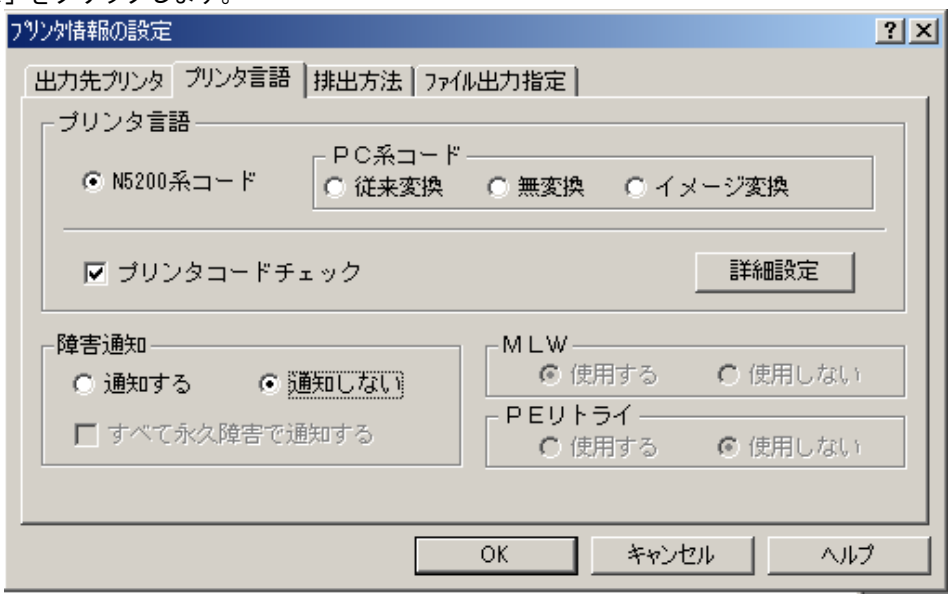
（８）「プリンタ機種名」で、移行前のプリンタに合わせて「BizReporting(ページ系)」か「BizReporting(シリアル系)」のどちらかを選択し、「ＯＫ」をクリックします。



メモ

プリンタ機種名について
- 「BizReporting(ページ系)」：移行前のプリンタがセントロページプリンタの場合
- 「BizReporting(シリアル系)」：移行前のプリンタがセントロドットインパクト/ラインプリンタの場合

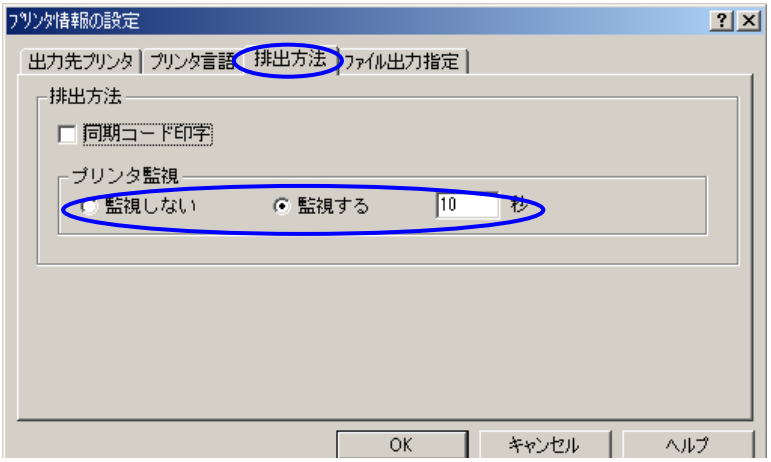
（９）「ＯＫ」をクリックします。



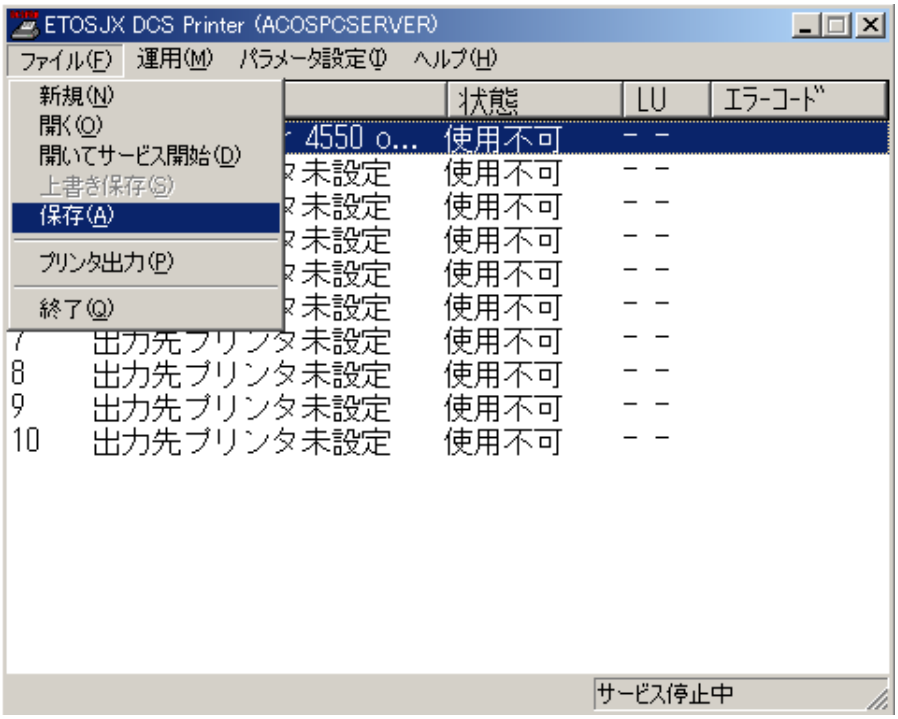
© NEC Corporation 2025

注意

「排出方法」タブの「プリンタ監視」は「監視する」（デフォルトのまま）にします。
「監視しない」にすると正常に印刷されなくなる恐れがあります。

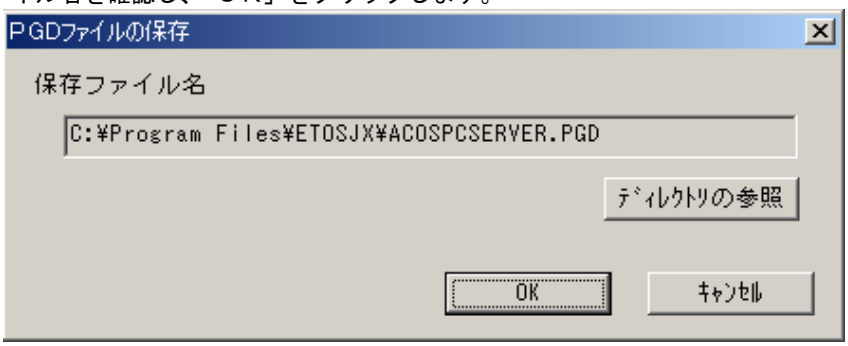


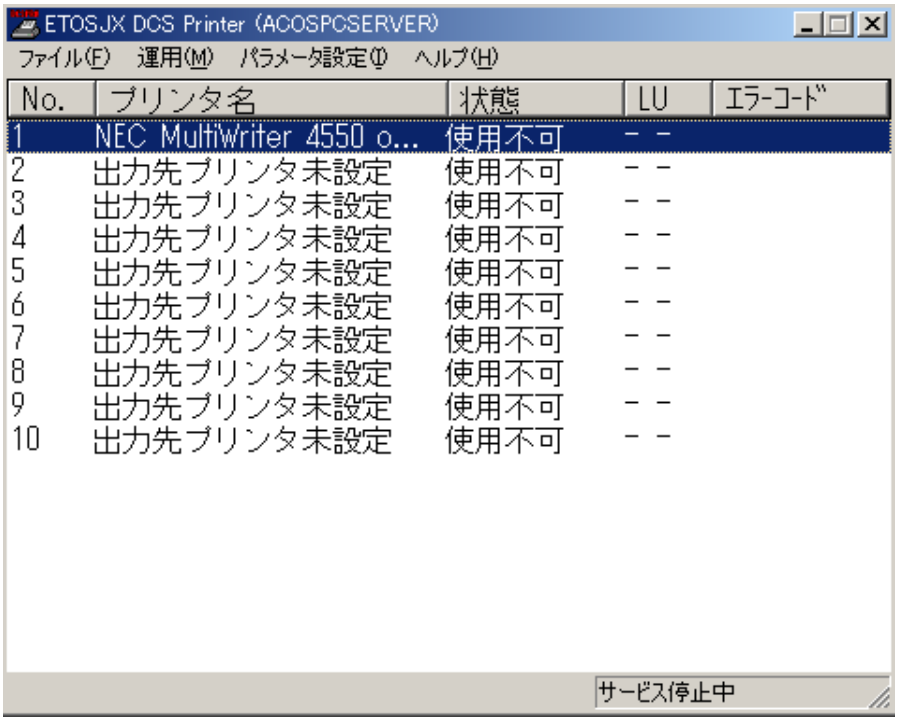
（１０）「ファイル」メニューの「保存」をクリックします。



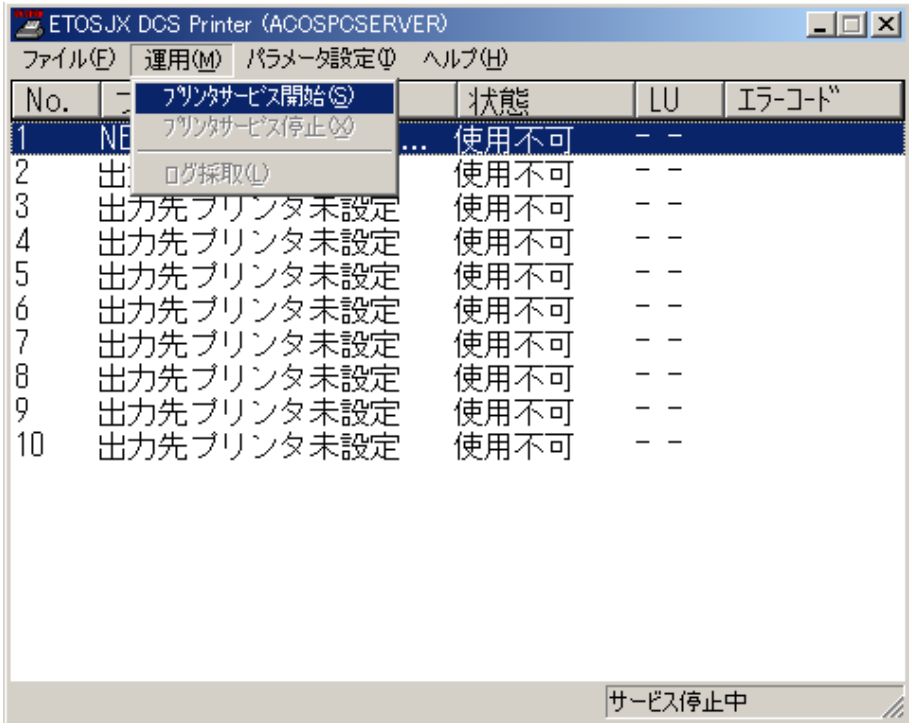
© NEC Corporation 2025

（１１）保存ファイル名を確認し、「ＯＫ」をクリックします。



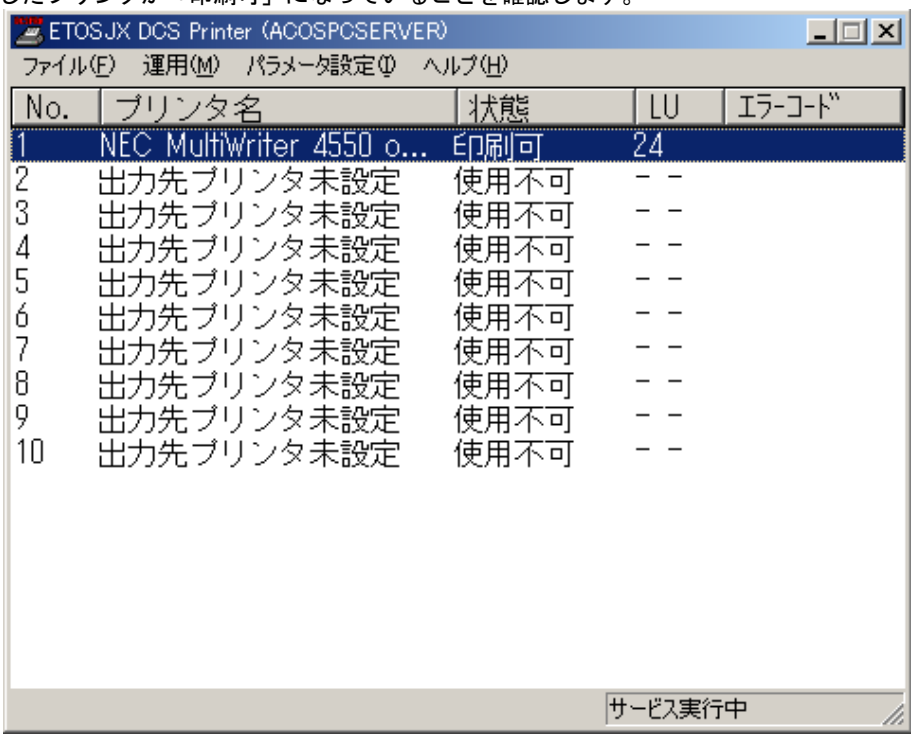


（１２）「運用」メニューの「プリンタサービス開始」をクリックします。



© NEC Corporation 2025

（１３）設定したプリンタが「印刷可」になっていることを確認します。

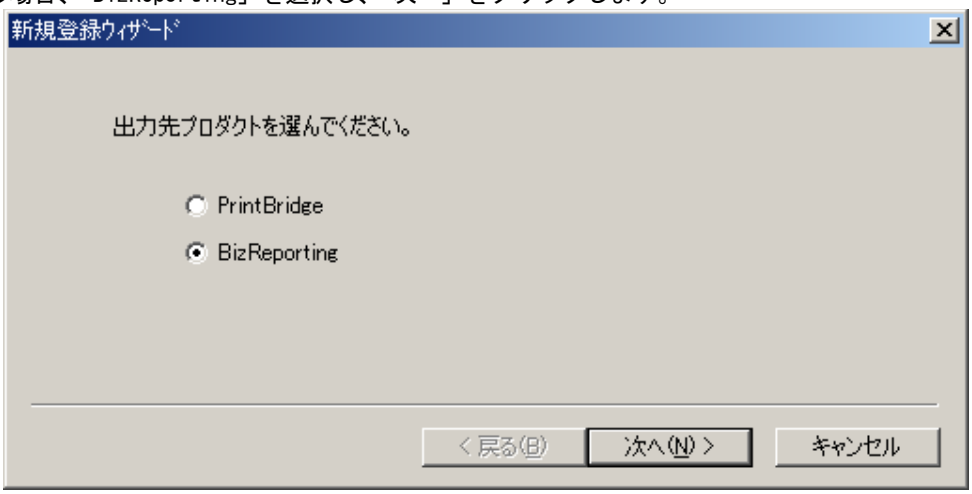


© NEC Corporation 2025

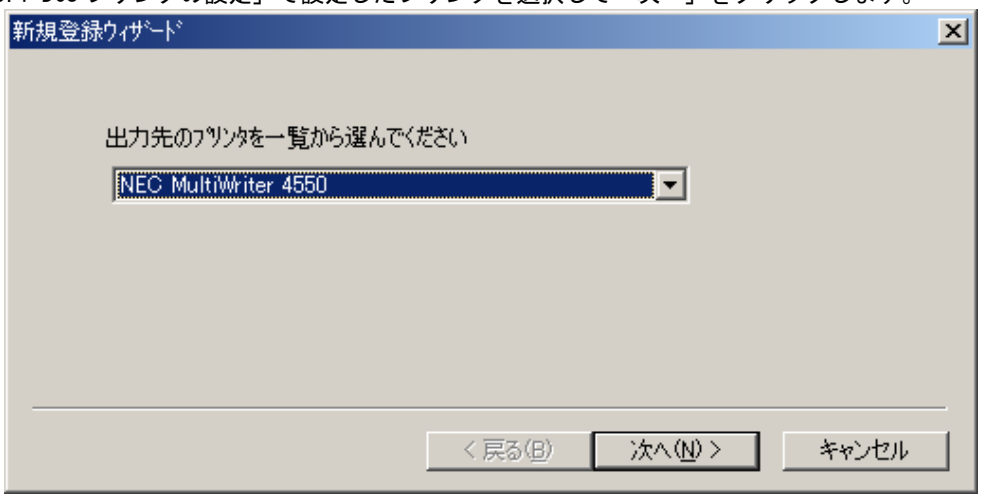
2.5.2　BizReporting プリンタの設定

「2.5.1 DCS プリンタの設定」で設定した DCS プリンタと Windows 側のプリンタの関連付けを行います。
関連付けを行うことにより、DCS プリンタに出力したデータが、Windows 側のプリンタに出力されるようになります。

（１）「プログラム」->「BizReporting」の「プリンタ設定ツール（PICMIN)」を起動します。
PrintBridge と BizReporting を両方インストールしている場合は、出力先プロダクトの選択画面を表示します。
この場合、「BizReporting」を選択し、「次へ」をクリックします。



（２）「2.5.1 DCS プリンタの設定」で設定したプリンタを選択して「次へ」をクリックします。

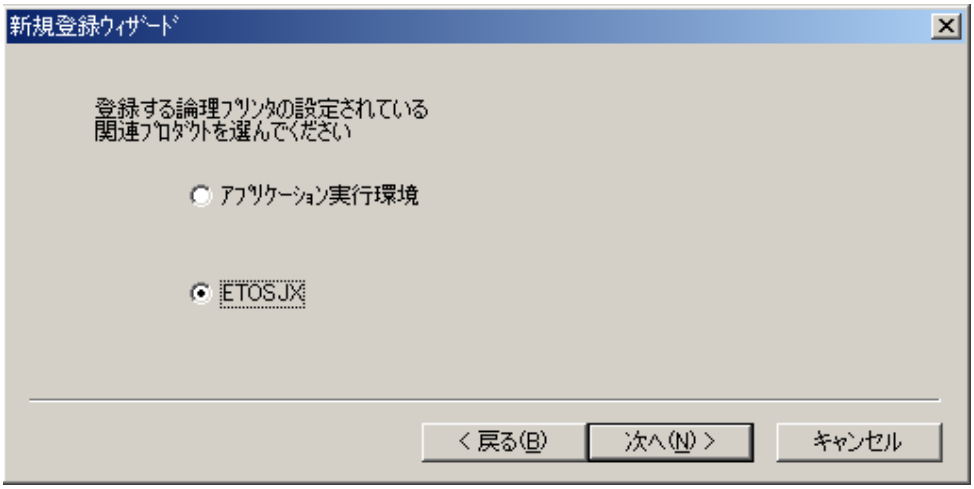


注意

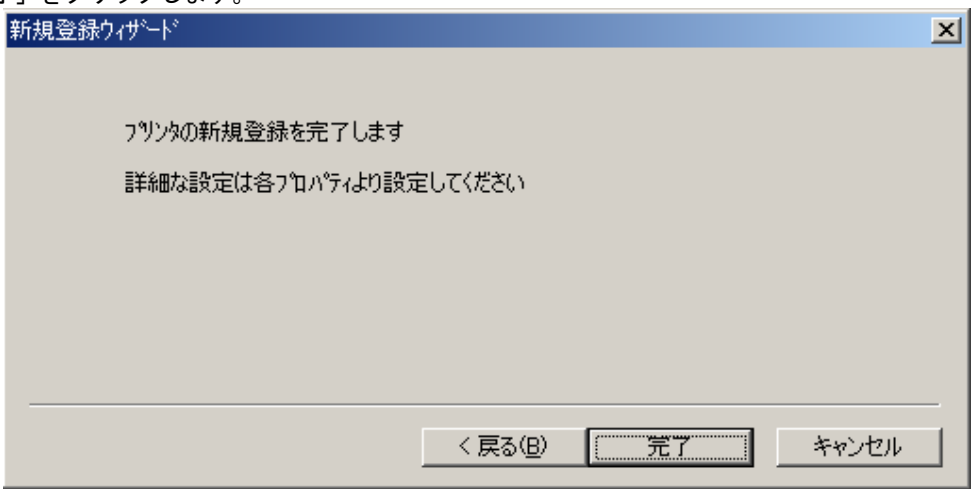
出力先のプリンタで「Default」を選択しないでください。

© NEC Corporation 2025

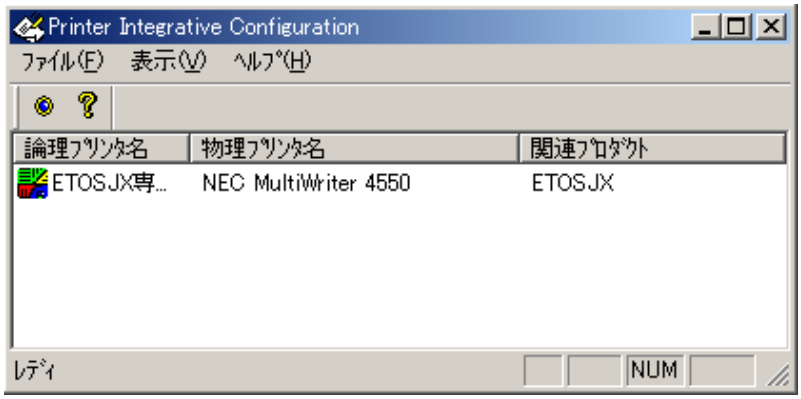
（３）関連プロダクトの選択画面が表示された場合、「ETOSJX」を選択し[次へ]をクリックしてください。



（４）「完了」をクリックします。



（５）登録内容が追加されたことを確認します。



© NEC Corporation 2025

2.5.3　確認方法

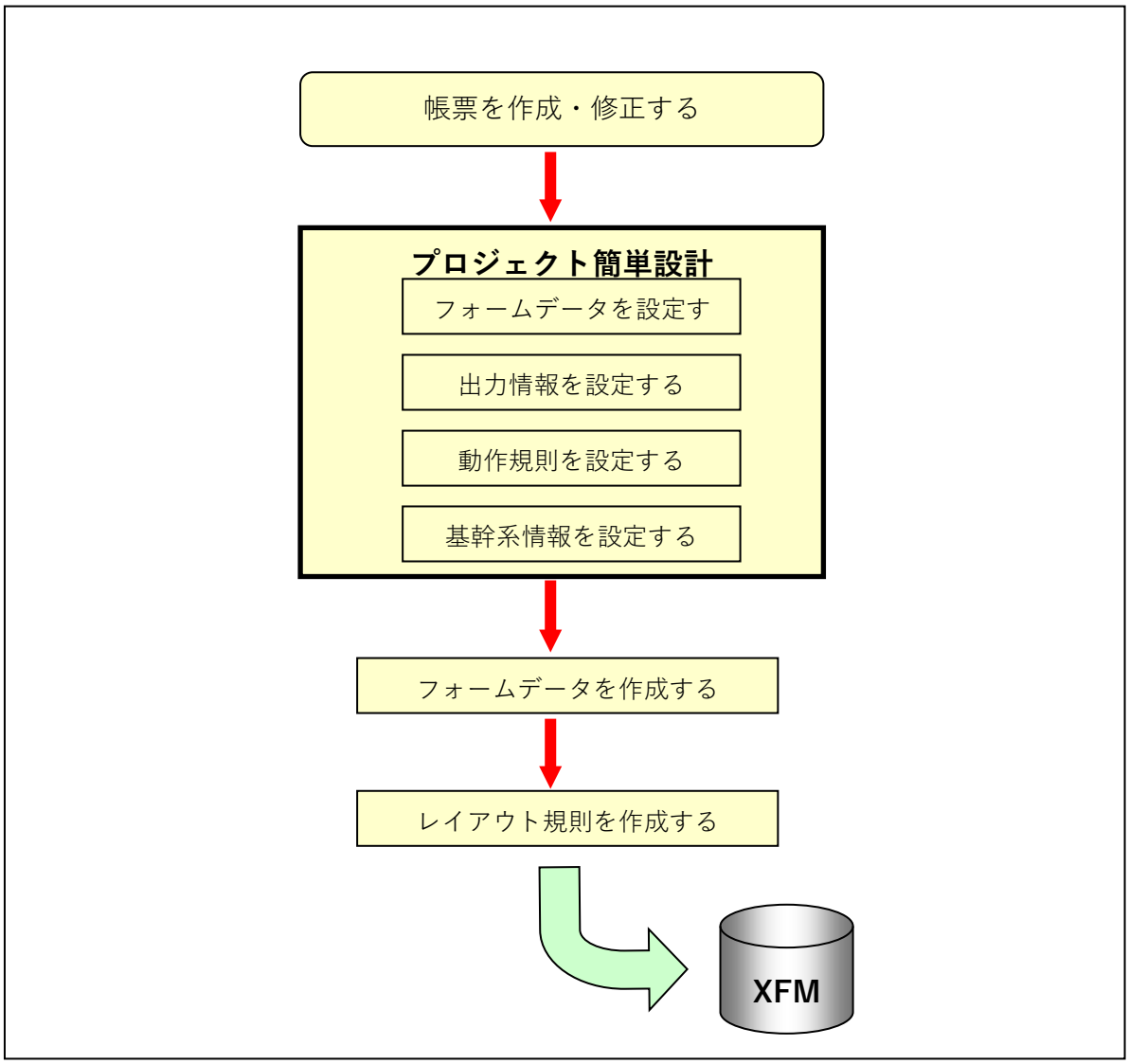
ACOS-2、またはACOS-4からBizReporting経由で印刷を行い、「2.5.2 BizReportingプリンタの設定」で設定したWindows側のプリンタに出力されることを確認します。

© NEC Corporation 2025

3　帳票設計編

本章では VISUALFORMS for BizReporting でプロジェクト簡単設計を利用した帳票設計方法を説明します。
作成した帳票（XFM ファイル）を BizReporting に適用することで、ユーザデータと VISUALFORMS for BizReporting で設計した表現力の高いフォームデータのオーバレイ帳票を印刷することができます。

VISUALFORMS for BizReporting を利用した帳票設計の流れ



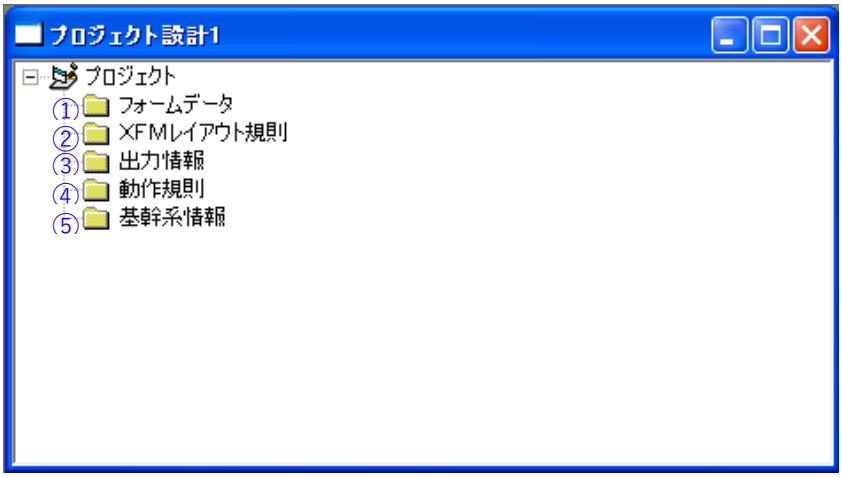
太枠内の機能について、本編で記載しています。

© NEC Corporation 2025

3.1 概要

・プロジェクト構成情報
VISUALFORMS for BizReporting では BizReporting で利用するプロジェクト（XFM ファイル）を作成します。
プロジェクトは以下の 5 つの情報を含み、運用形態に合わせてそれぞれの情報を設計します。

プロジェクトウィンドウ

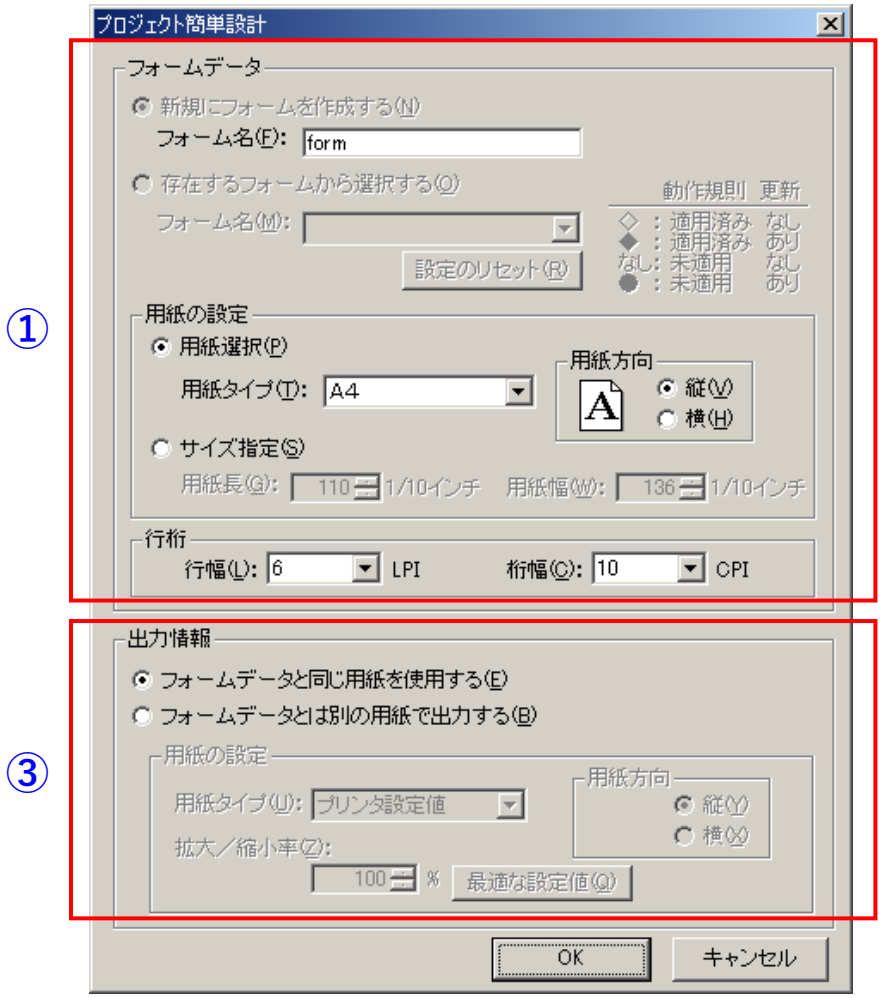


	情報名	説明	プロジェクト簡単設計の処理
①	フォームデータ	帳票のデザインです。 図形、見出し文字などの帳票の固定情報に関する設計を行います。	空のフォームデータ（“form”）を作成します。
②	XFM レイアウト規則	ユーザデータのレイアウト変換の規則です。	処理を行いません。
③	出力情報	帳票の出力形式です。 プリンタ出力方法、コンテンツ（SVG,XFO,PDF）出力方法などを設定します。	プリンタ出力用の出力情報（“EasyPrint”）を作成します。
④	動作規則	帳票出力環境での動作規則です。 利用するフォームデータ、出力情報、XFM レイアウトなどの運用に沿った動作規則（組み合わせ）を設定します。	①のフォームデータ（“form”）と③のプリンタ出力情報（“EasyPrint”）を適用した規則（“role01”）を作成します。
⑤	基幹系情報	ACOS や WindowsCOBOL からの出力に関する情報です。 ACOS や WindowsCOBOL からの出力に関する情報を設定します。	用紙サイズに従い、基幹系情報（“userdata01”）を作成します。

プロジェクト簡単設計では、上記 5 つの情報のうち、「XFM レイアウト規則」と「フォームデータ」のデザインを除いた情報を一度に設定します。

© NEC Corporation 2025

・プロジェクト簡単設計ダイアログ
「ファイル」→「プロジェクトの新規作成」を選択します。
プロジェクト簡単設計ダイアログを表示します。

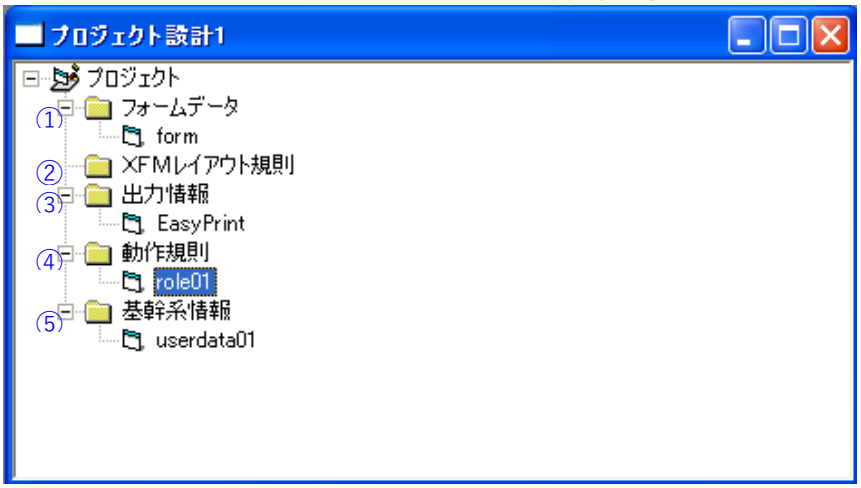


プロジェクト簡単設計ダイアログでは、プロジェクト構成情報のうち、「①フォームデータ」、「③出力情報」の設定を行います。
①フォームデータ
・フォームデータ情報
　新規フォームデータ名を指定、または修正する既存のフォームデータ名を選択します。
・用紙情報
　帳票の用紙情報（用紙タイプ、方向、用紙サイズ、行桁幅）を設定します。
③出力情報
　プリンタ出力時の情報（用紙タイプ、方向、倍率）を設定します。

「OK」ボタンでダイアログを閉じると、ダイアログで設定した内容で「①フォームデータ」、「③出力情報」を作成します。さらに「④動作規則」、「⑤基幹系情報」を自動で作成します。

© NEC Corporation 2025

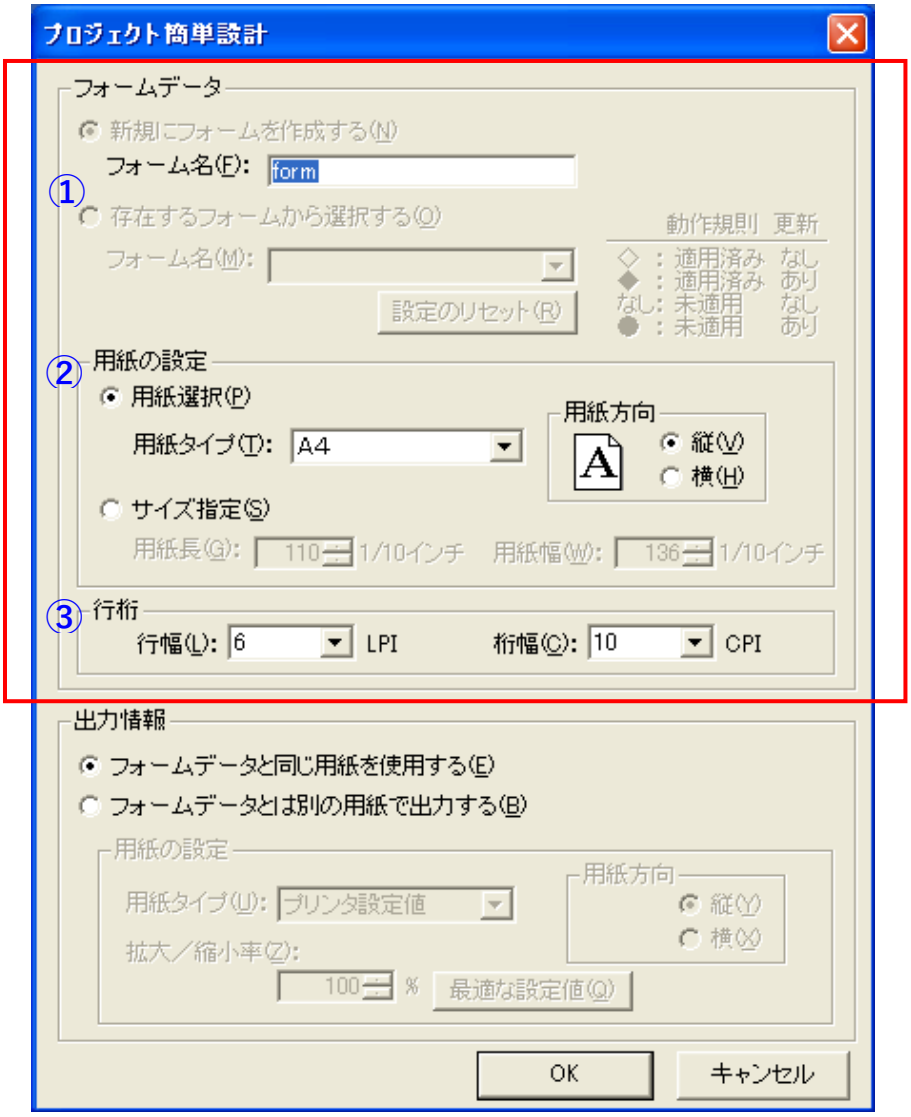
プロジェクトウィンドウ(プロジェクト簡単設計使用後)



© NEC Corporation 2025

3.2 フォームデータの設定

フォームデータ名や設計用紙サイズを設定します。



① フォームデータの設定
設計対象の帳票（フォームデータ）を設定します（「3.2.1 フォームデータの設定」参照）。

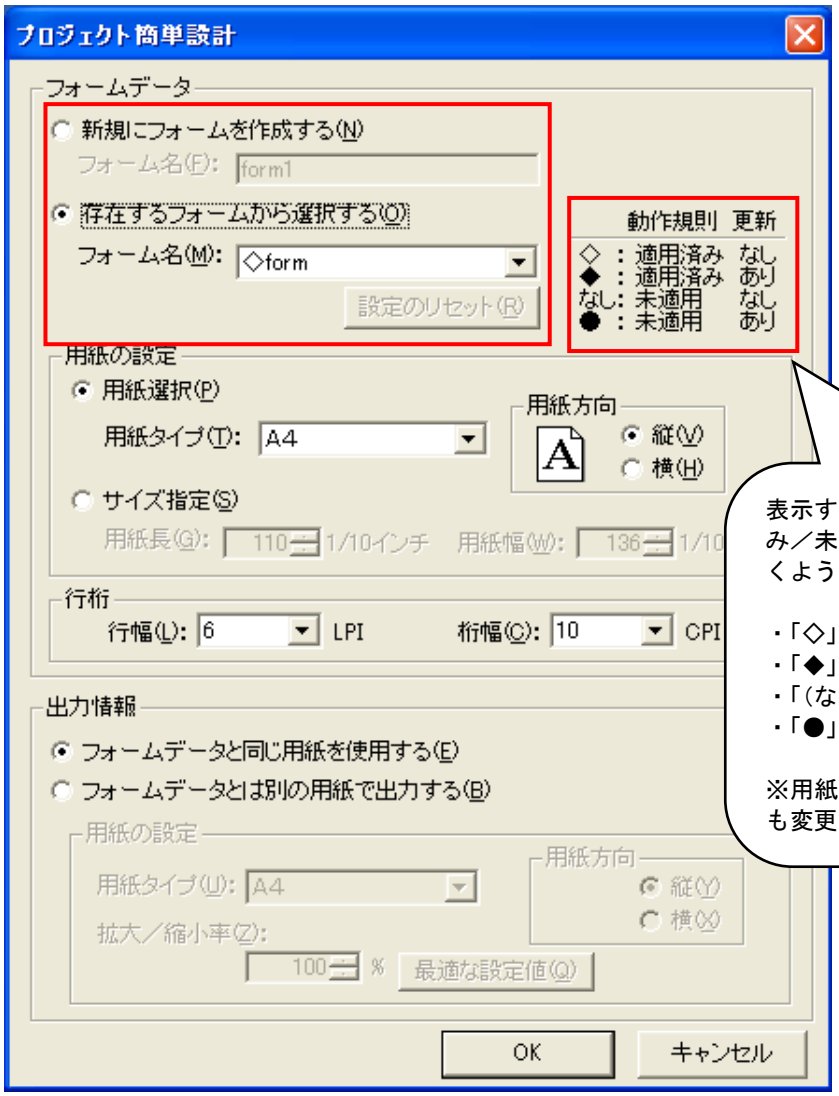
② 用紙の設定
帳票の設計用紙サイズを設定します（「3.2.2 用紙の設定」参照）。

③ 行桁の設定
帳票の行幅と桁幅を設定します（「3.2.3 行桁の設定」参照）。

© NEC Corporation 2025

3.2.1　フォームデータの設定

設計対象のフォームデータを設定します。
プロジェクト内に既にフォームデータが存在する場合、「新規にフォームを作成する」と「存在するフォームから選択する」の選択が可能になります。
「新規にフォームを作成する」を選択した場合、フォーム名を指定します。指定したフォーム名でフォームデータが作成され、動作規則に適用されます。
「存在するフォームから選択する」を選択した場合、既に存在するフォーム名の一覧からフォームデータを選択します。選択したフォームデータが動作規則未適用の場合、動作規則に適用されます。



表示するフォーム名には、動作規則で適用済み／未適用、更新あり／未更新の見分けがつくよう、以下の目印を付加します。

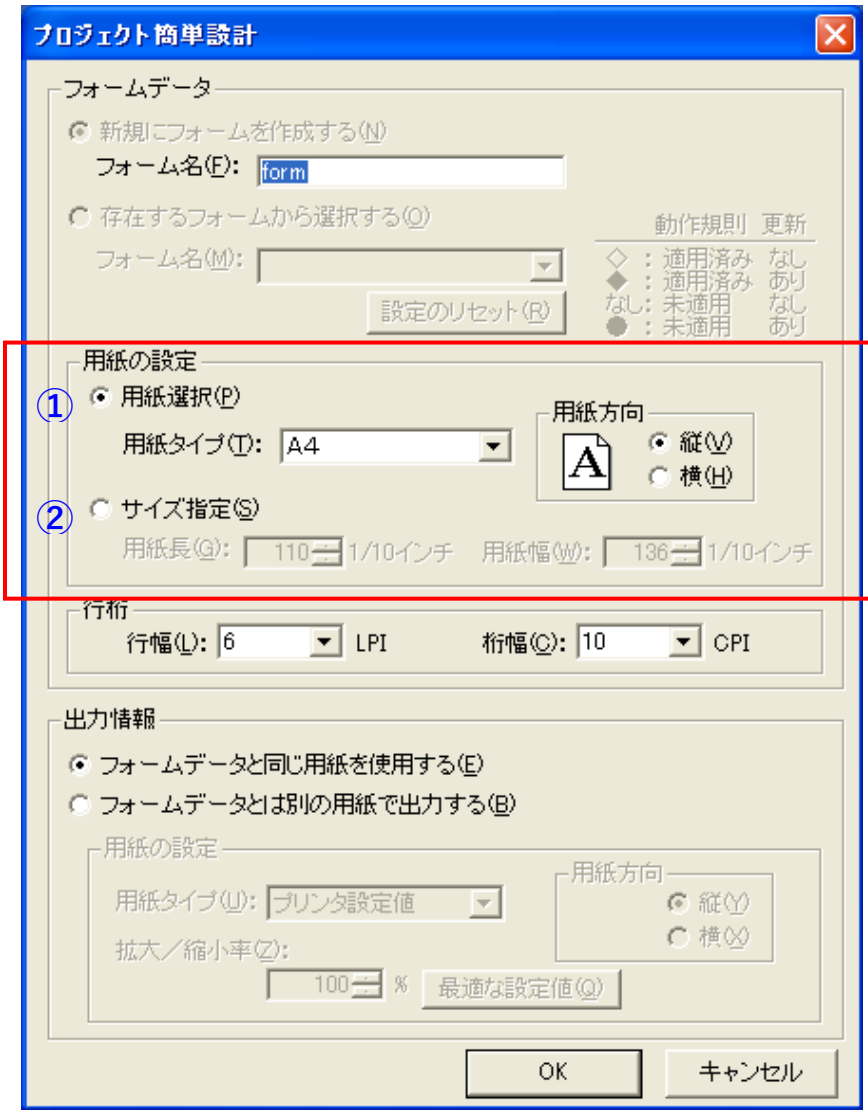
・「◇」: 動作規則で適用済み、未更新
・「◆」: 動作規則で適用済み、更新あり
・「(なし)」: 動作規則で未適用、未更新
・「●」: 動作規則で未適用、更新あり

※用紙タイプや用紙方向、行桁指定を一度でも変更すると「更新あり」となります。

© NEC Corporation 2025

3.2.2　用紙の設定

帳票の設計用紙を設定します。
定型サイズの用紙を設定する場合は「用紙選択」を、任意のサイズの用紙を指定する場合は「サイズ指定」を選択します。
用紙の設定で指定した用紙サイズが、フォームデータの用紙サイズとなります。



①用紙選択
定型サイズの帳票の設計用紙タイプ、用紙方向を選択します。
※出力時の用紙タイプ、用紙方向については、「3.3 出力情報の設定」で設定します。

・用紙タイプ
以下の用紙タイプから選択します。
Ａ３、Ａ４、Ａ５、Ｂ４、Ｂ５、帳票、はがき、レター

メモ

用紙タイプ「帳票」のサイズは、基幹系帳票印刷で利用する連続紙帳票サイズです。
用紙長 11 インチ、用紙幅 13.6 インチ（用紙方向 横を指定）の用紙サイズです。

© NEC Corporation 2025

・用紙方向
　帳票の設計用紙の縦方向、または横方向を選択します。

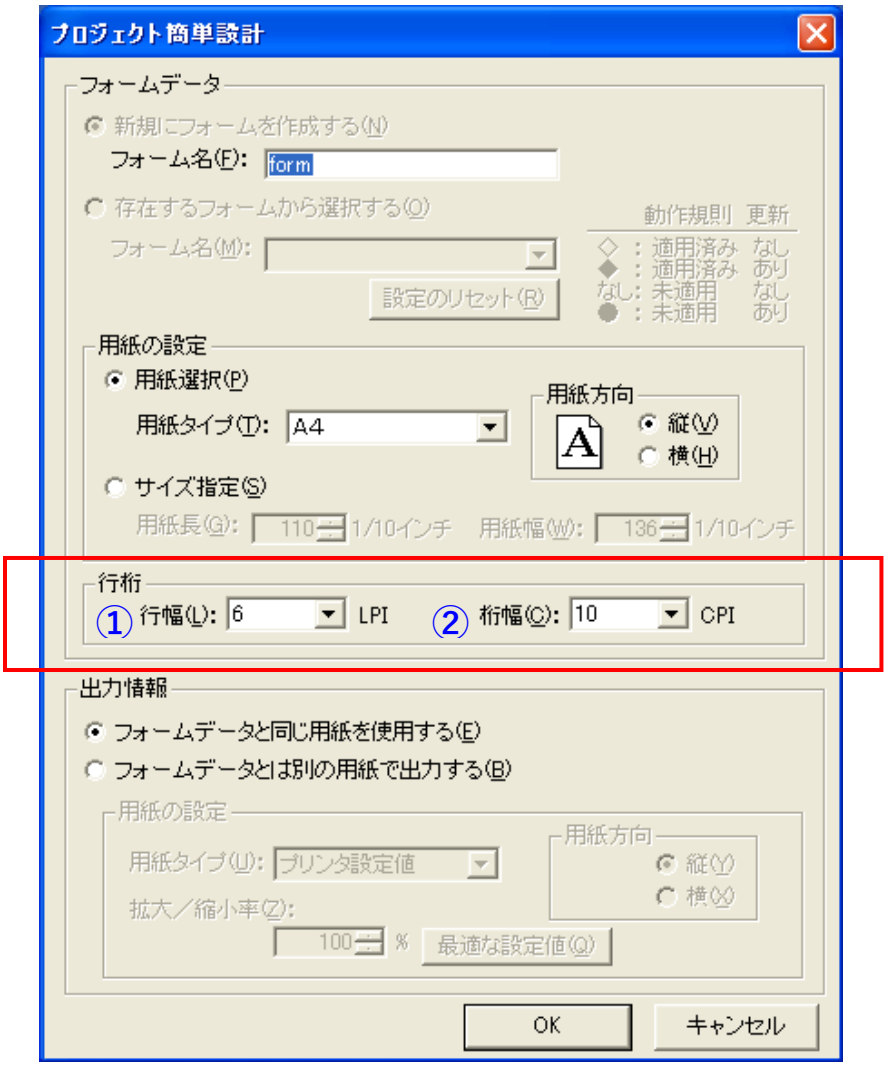
②サイズ指定
任意のサイズの帳票を指定する場合に、用紙長と用紙幅を 1/10 インチ単位で指定します。
宅配伝票などの連続用紙、ラベルプリンタ用の特殊な用紙、「①用紙選択」で選択できない用紙サイズの場合に利用します。

例）縦 5 インチ、横 8 インチの宅配伝票の場合、以下の数値を設定します。
　　用紙長　50
　　用紙幅　80

© NEC Corporation 2025

3.2.3　行桁の設定

帳票の行幅と桁幅を指定します。
指定した値がフォームデータデザイン時のグリッド／ガイドの単位の値、および、基幹系情報の行幅、桁幅となります。



① 行幅（単位 LPI）
フォームデータの設計領域の行幅。1 インチ当たりの行数を指定します。
　　選択可能な値　3, 4, 6, 8, 12, 24

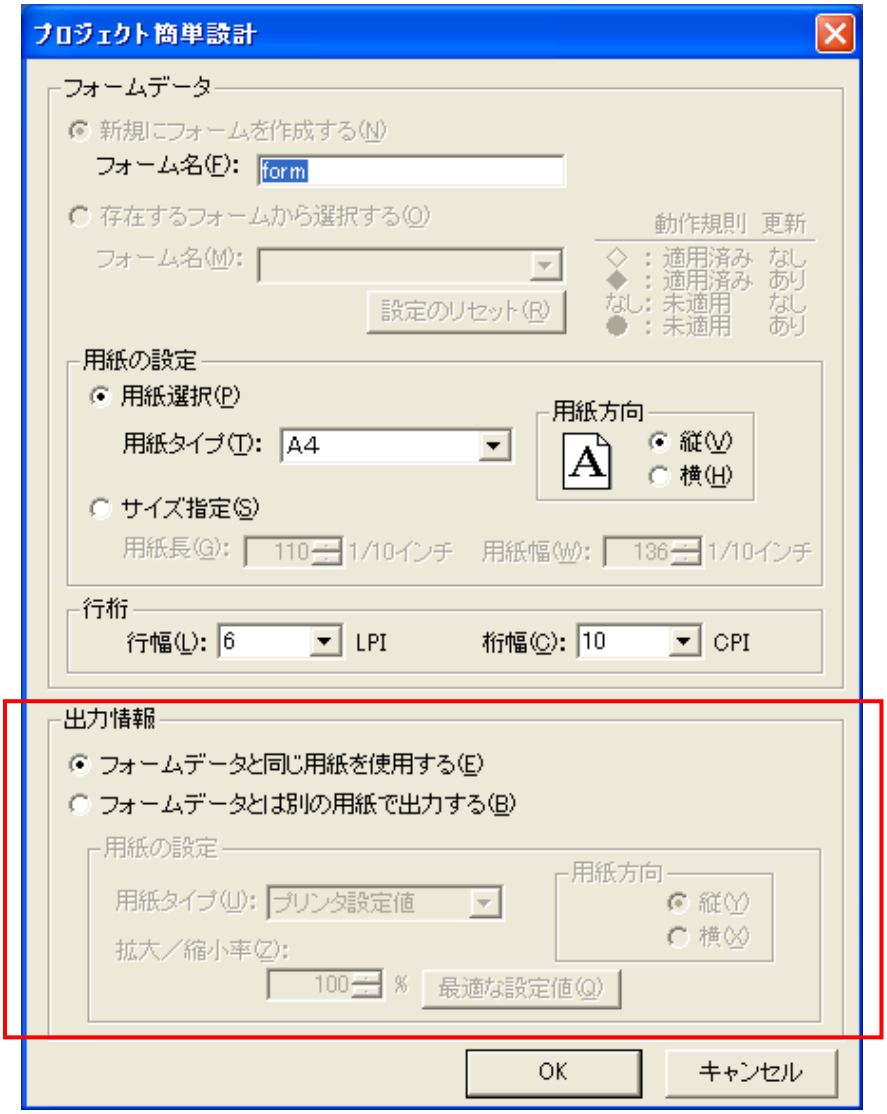
② 桁幅（単位 CPI）
フォームデータの設計領域の桁幅。1 インチ当たりの文字数を指定します。
　　選択可能な値　10, 12, 15

　例）桁幅 12CPI の場合
　　1 インチ当たり、12 文字の桁幅です。
　　用紙幅が 11 インチの場合、帳票の全桁数は、132 桁となります。

© NEC Corporation 2025

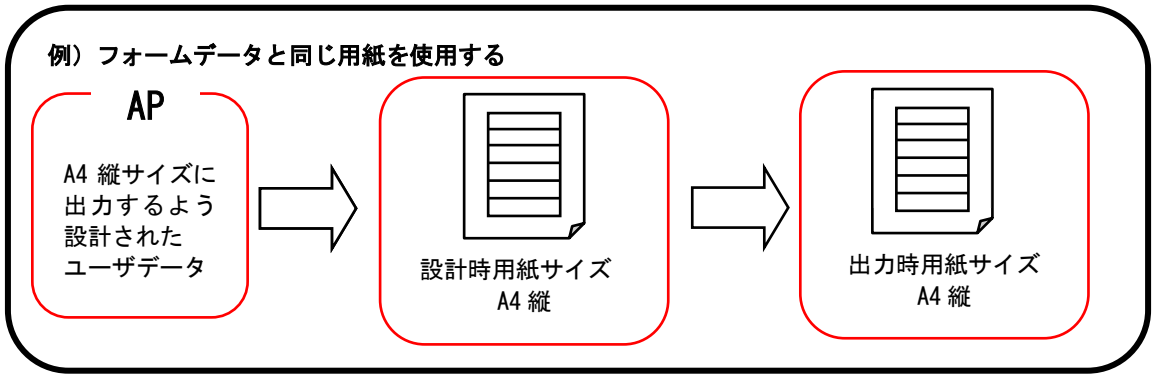
3.3 出力情報の設定

帳票出力時の用紙サイズを指定します。

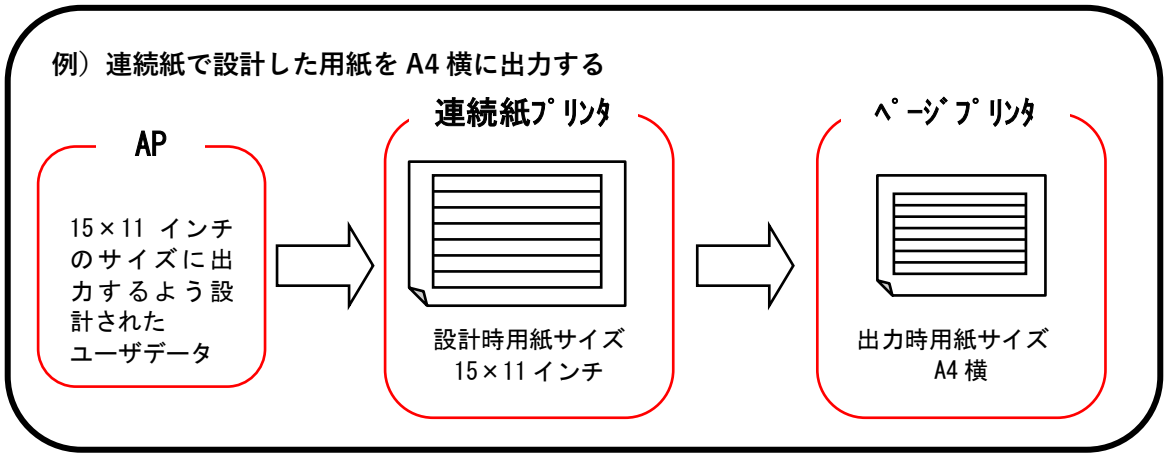


© NEC Corporation 2025

・フォームデータと同じ用紙を使用する
「3.2.2 用紙の設定」で指定した設計時の用紙サイズ、用紙方向で出力する場合に指定します。

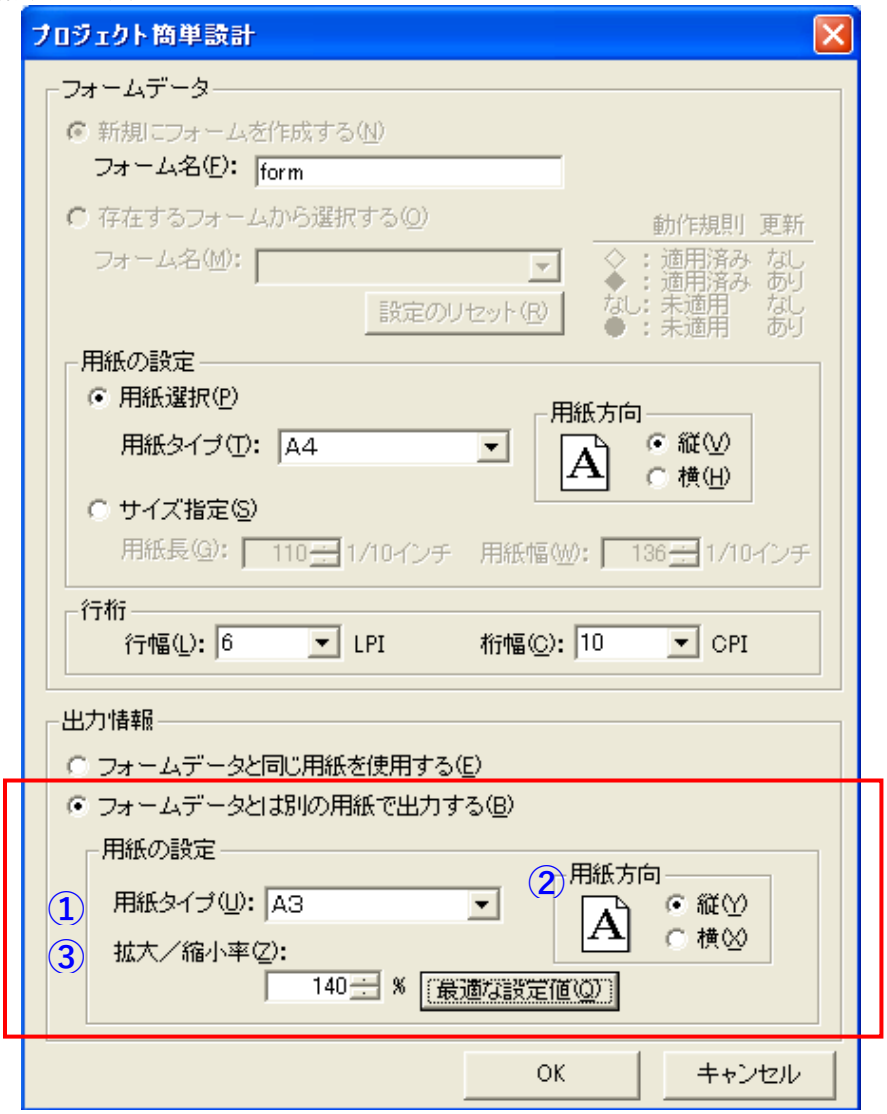


・フォームデータとは別の用紙で出力する
「3.2.2 用紙の設定」で指定した設計時の用紙サイズ、用紙方向とは異なる用紙で出力する場合に指定します。



© NEC Corporation 2025

以下の項目を設定します。



① 用紙タイプ

プリンタ出力の用紙タイプを選択します。

用紙タイプ	説明
プリンタ設定値	出力環境の出力プリンタのデフォルト用紙サイズ(※)で出力します
Ａ３	A3 用紙で出力します
Ａ４	A4 用紙で出力します
Ａ５	A5 用紙で出力します
Ｂ４	B4 用紙で出力します
Ｂ５	B5 用紙で出力します
user01～user20	出力環境の動作設定ツールの「プリンタ環境の定義」で user01～user20 に定義されている用紙サイズで出力します

※デフォルト用紙サイズ

プリンタのプロパティで印刷する時点で設定されている用紙サイズです。

© NEC Corporation 2025

●帳票出力環境の指定可能用紙について

定型サイズ以外の用紙サイズで設計した帳票は、出力時に指定した用紙がプリンタの用紙と関連付けられている必要があります。そのため、出力時の用紙サイズとして、用紙タイプ　user01～user20 を選択し、出力環境の動作設定ツールで目的の用紙サイズと用紙タイプ(user01～user20)の定義付けを行ってください。定義付けを行っていない場合は出力されません。(イベントログにエラーを表示します。)

※用紙タイプ user01～user20 の設定については「4.1.3 横 13.6 インチ、縦 11 インチの帳票を連続紙プリンタに出力したい場合」を参照してください。

② 用紙方向

プリンタ出力の用紙方向を設定します。用紙の縦方向、または横方向を選択します。

③ 拡大／縮小率

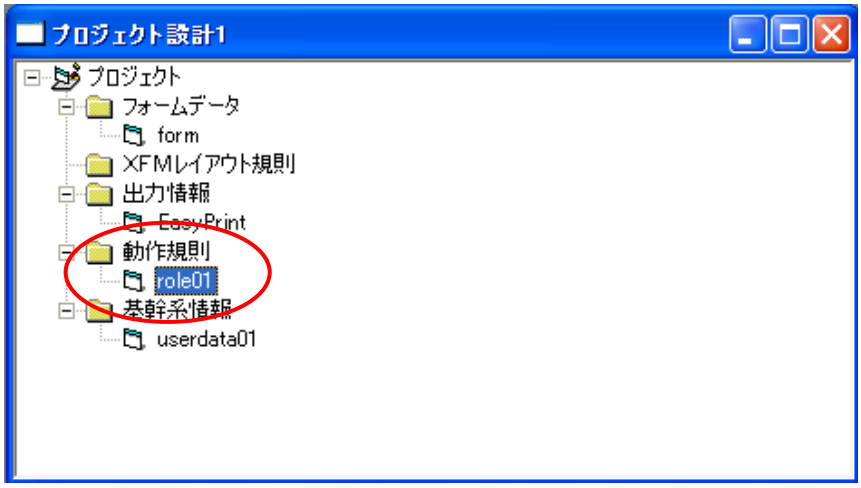
プリンタ出力の拡大／縮小率を設定します。

© NEC Corporation 2025

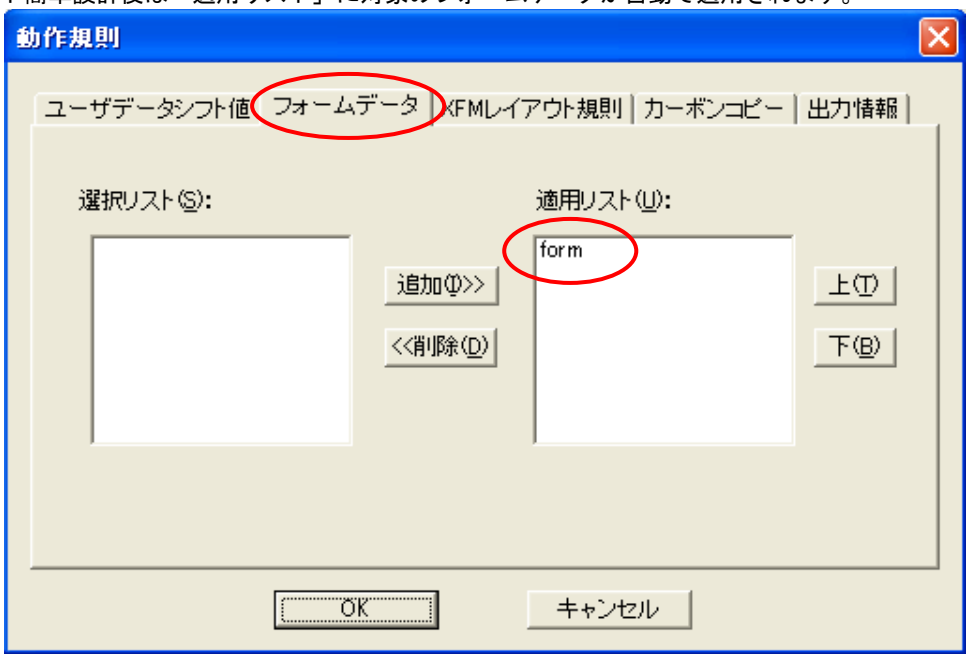
3.4 動作規則の設定

プロジェクト簡単設計は、利用するフォームデータ、出力情報などの動作規則（組み合わせ）を自動で作成します。動作規則には対象のフォームデータと出力情報「EasyPrint」を自動で適用します。

動作規則の内容を確認、または編集する場合はプロジェクトウィンドウの「動作規則」－「role01」をダブルクリックし、動作規則ダイアログを開きます。

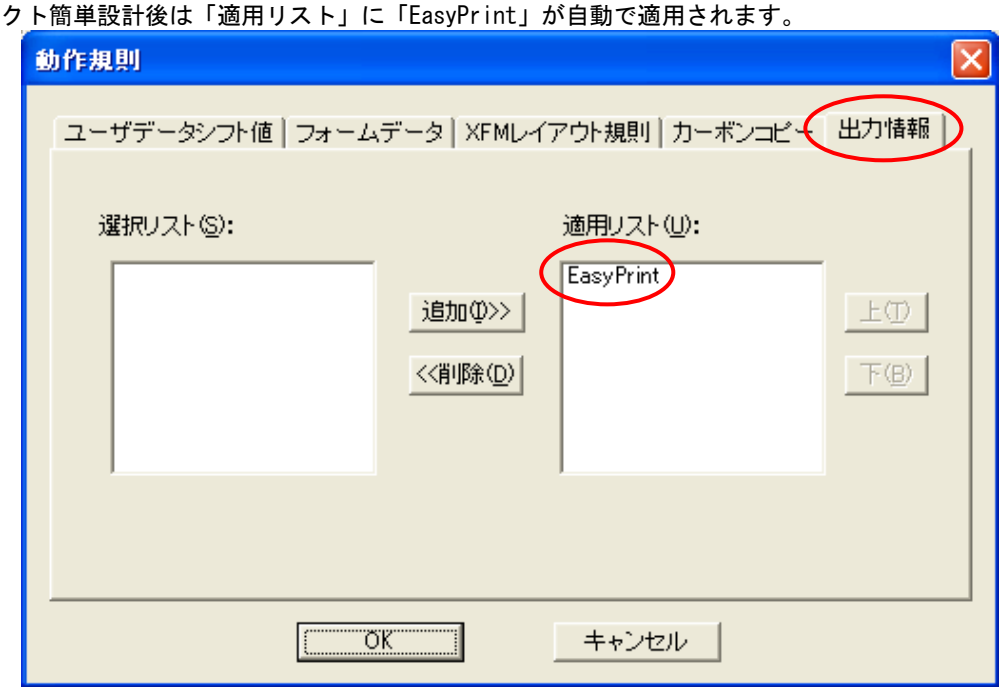


「フォームデータ」タブで動作規則に適用するフォームデータの追加／削除を行います。
プロジェクト簡単設計後は「適用リスト」に対象のフォームデータが自動で適用されます。



© NEC Corporation 2025

「出力情報」タブで動作規則に適用する出力情報の追加／削除を行います。
プロジェクト簡単設計後は「適用リスト」に「EasyPrint」が自動で適用されます。

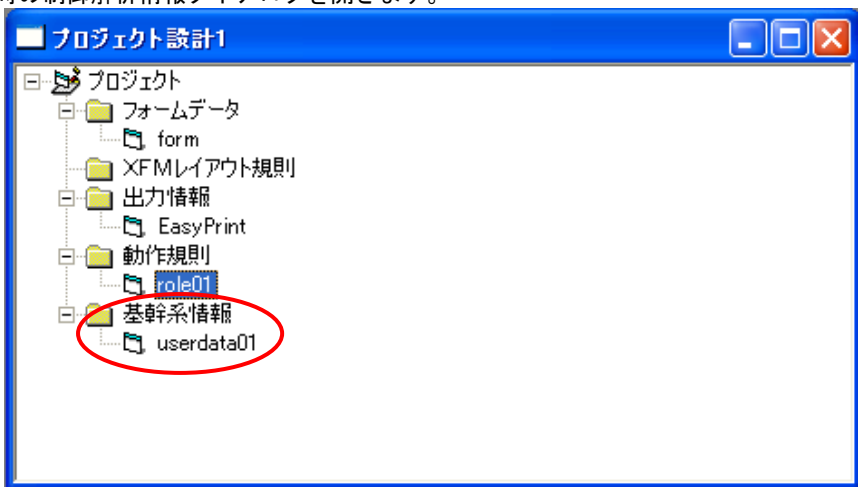


© NEC Corporation 2025

3.5 基幹系情報の設定

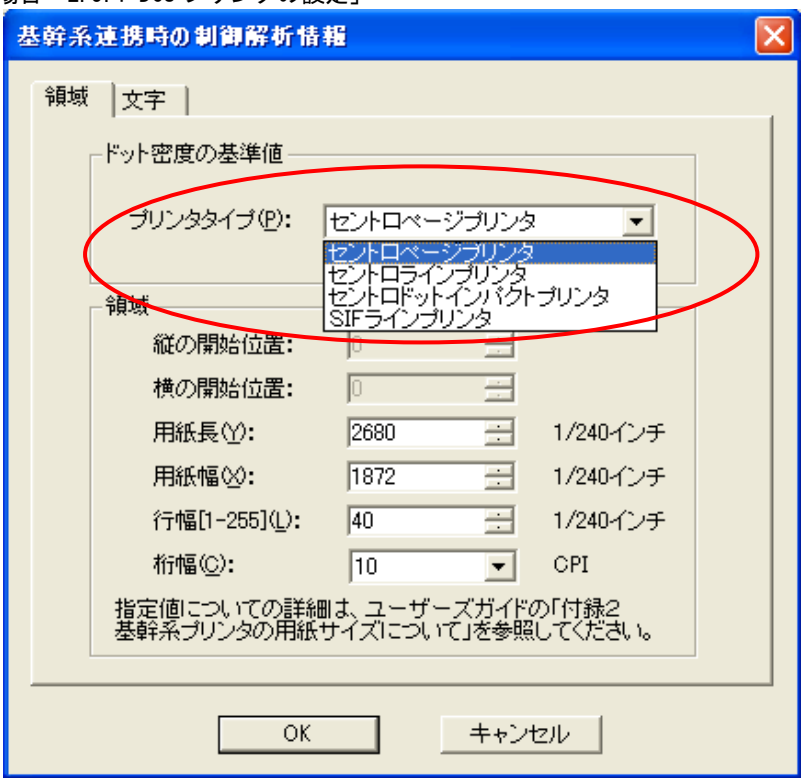
プロジェクト簡単設計は、従来基幹系からの出力に関する制御解析情報を自動で作成します。
従来基幹系からの出力とは、ACOSやWindowsCOBOLから出力された帳票印刷用データを用いてBizReportingで出力を行うことです。制御解析情報とは、ACOSやWindowsCOBOLからの帳票印刷用データをBizReportingで解析する際に必要な、プリンタタイプ、従来用紙の大きさ、改行幅、桁幅、文字のフォントと大きさ拡大の既定値、文字ピッチの既定値などの情報です。
プロジェクト簡単設計後はプリンタタイプに「セントロページプリンタ」が設定されているので、基幹系連携時の制御解析情報ダイアログでご利用のプリンタタイプの設定を行う必要があります。

プリンタタイプの設定を行う場合、プロジェクトウィンドウの「基幹系情報」－「userdata01」をダブルクリックし、基幹系連携時の制御解析情報ダイアログを開きます。



「プリンタタイプ」で、以下で設定する移行前のプリンタと同じプリンタを設定します。

- COBOL アプリケーション実行環境経由の場合「2.4.1 論理プリンタの設定」
- ETOSJX 連携の場合「2.5.1 DCS プリンタの設定」

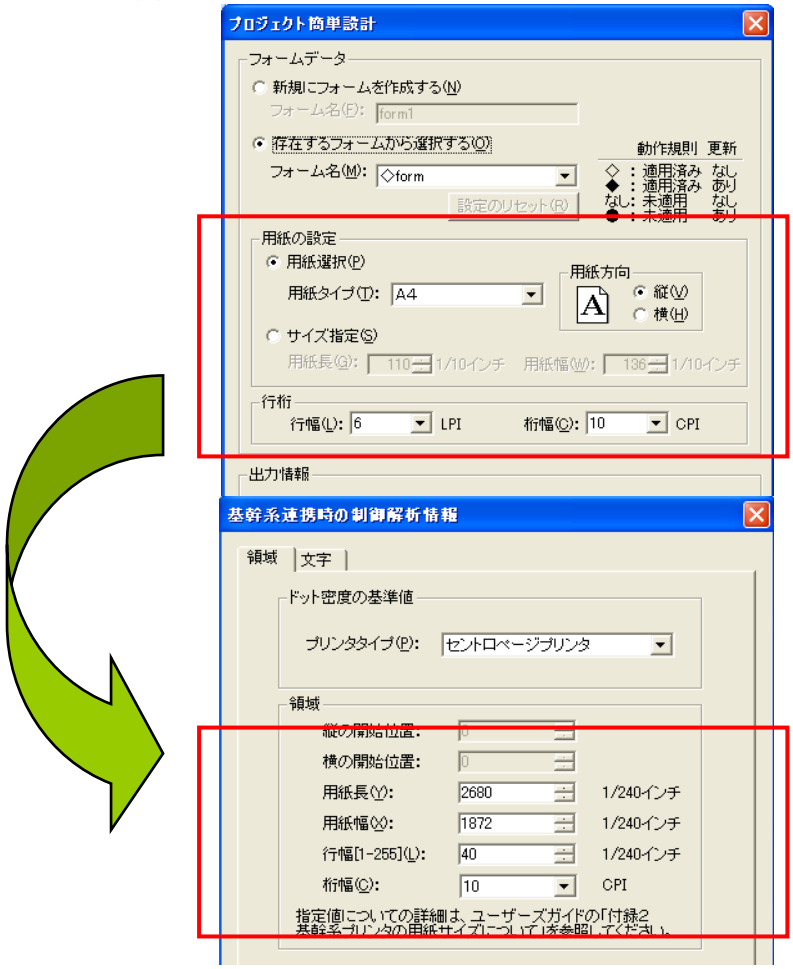


© NEC Corporation 2025

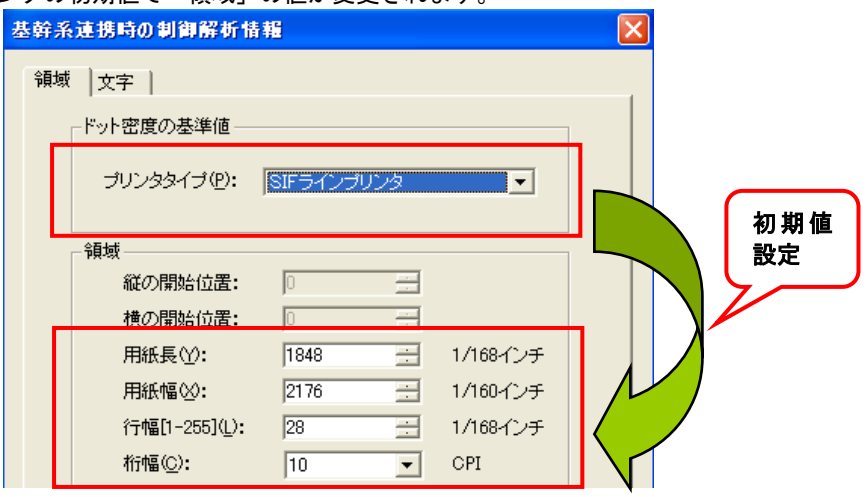
注意

●基幹系連携時の制御解析情報ダイアログの「領域」の値について

・プロジェクト簡単設計の「用紙の設定」、「行桁」で設定した値が「領域」の値に反映されます。



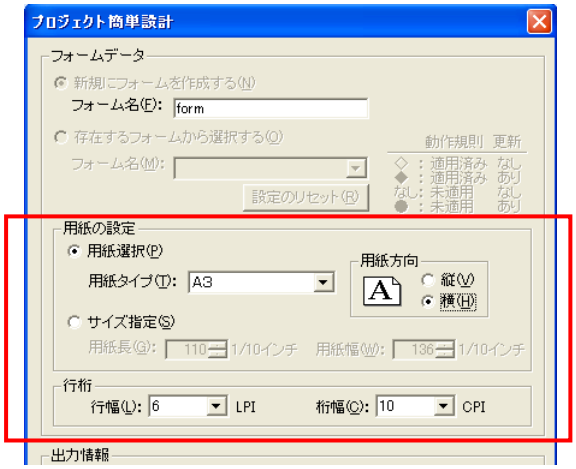
・基幹系連携時の制御解析情報ダイアログで「プリンタタイプ」を変更した場合、各プリンタの初期値で「領域」の値が変更されます。



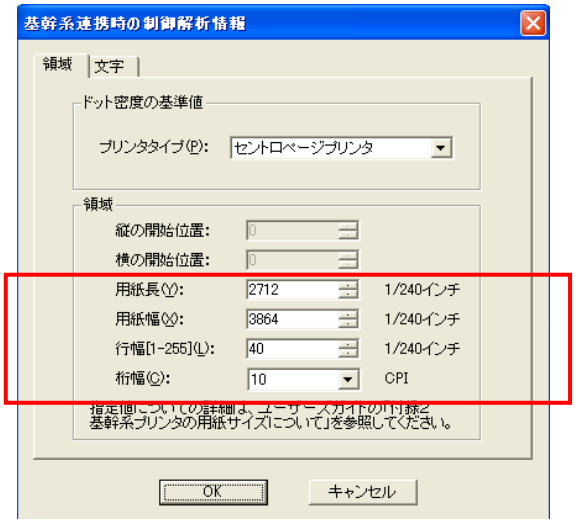
⇒この後プロジェクト簡単設計にて編集を行った場合、「領域」の値がプロジェクト簡単設計で設定した値で上書きされますのでご注意ください。

© NEC Corporation 2025

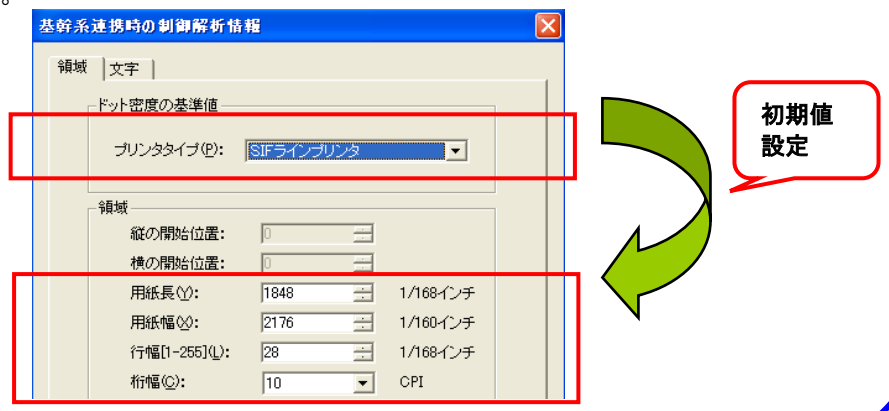
例）プロジェクト簡単設計の「用紙の設定」で「用紙タイプ：Ａ３」「用紙方向：横」「行幅：6」「桁幅：10」を設定した場合、



基幹系連携時の制御解析情報ダイアログでは、上記の用紙サイズに合わせて「領域」の値が「用紙長：2712(1/240 インチ)」「用紙幅：3864(1/240 インチ)」「行幅：40(1/240 インチ)」「桁幅：10(CPI)」となります。

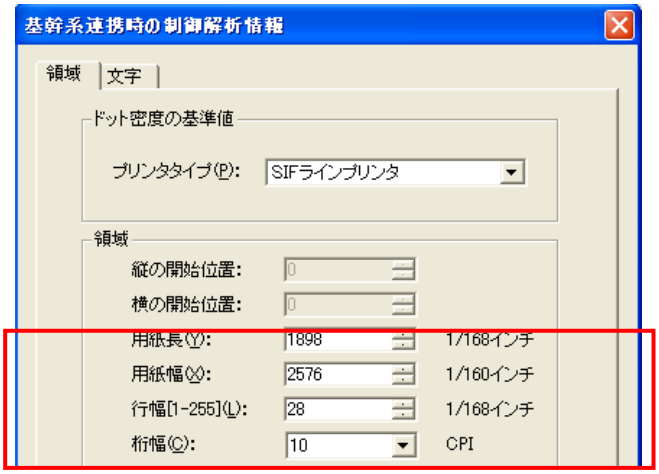


「プリンタタイプ」を「ＳＩＦラインプリンタ」に変更した場合、SIF ラインプリンタの初期値「用紙長：1848(1/168 インチ)」「用紙幅：2176(1/160 インチ)」「行幅：28(1/168 インチ)」「桁幅：10(CPI)」に「領域」の値が変更されます。



© NEC Corporation 2025

再度プロジェクト簡単設計ダイアログを表示し、「OK」を押下した場合、基幹系連携時の制御解析情報ダイアログの「領域」の値が、再度用紙サイズの値で上書きされますのでご注意ください。



※回避策※
プロジェクト簡単設計ダイアログの「用紙の設定」で設定した用紙と基幹系連携時の制御解析情報ダイアログで設定した「領域」の値を合わせてください。

© NEC Corporation 2025

4　付録

© NEC Corporation 2025

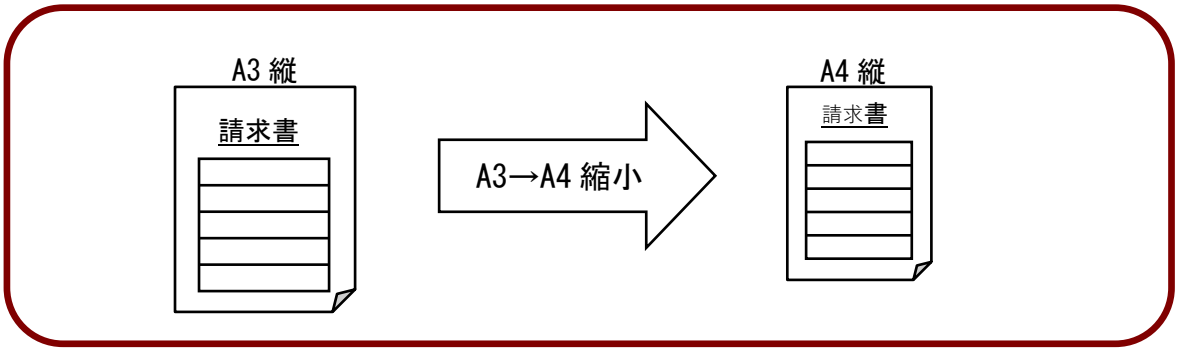
4.1 様々な帳票

ここでは、様々な帳票の設定方法を紹介します。

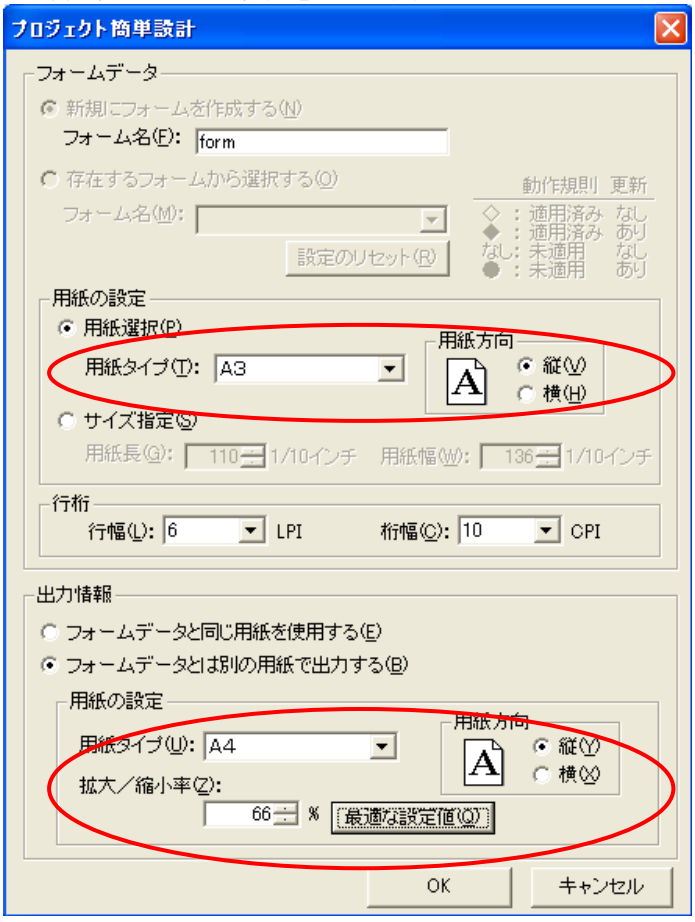
4.1.1 A3 縦用紙の帳票を A4 縦用紙に縮小して出力したい場合
4.1.2 連続紙帳票をカット紙に出力したい場合
4.1.3 横 13.6 インチ、縦 11 インチの帳票を連続紙プリンタに出力したい場合
4.1.4 基幹系アプリケーションで 1 行 1/8 インチの帳票を出力したい場合
4.1.5 プリンタ出力から PDF 出力に変更したい場合

© NEC Corporation 2025

4.1.1　A3 縦用紙の帳票を A4 縦用紙に縮小して出力したい場合

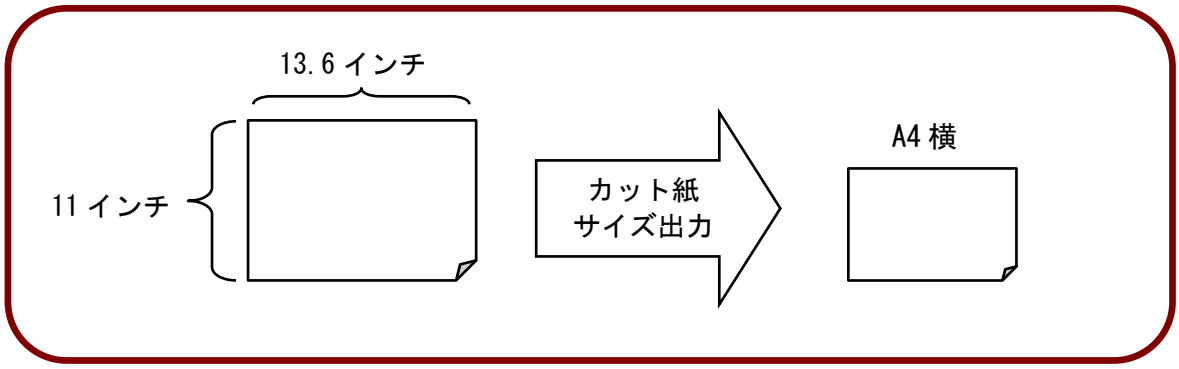


【設定方法】
帳票設計時の設定：プロジェクト簡単設計で以下の設定を行います。

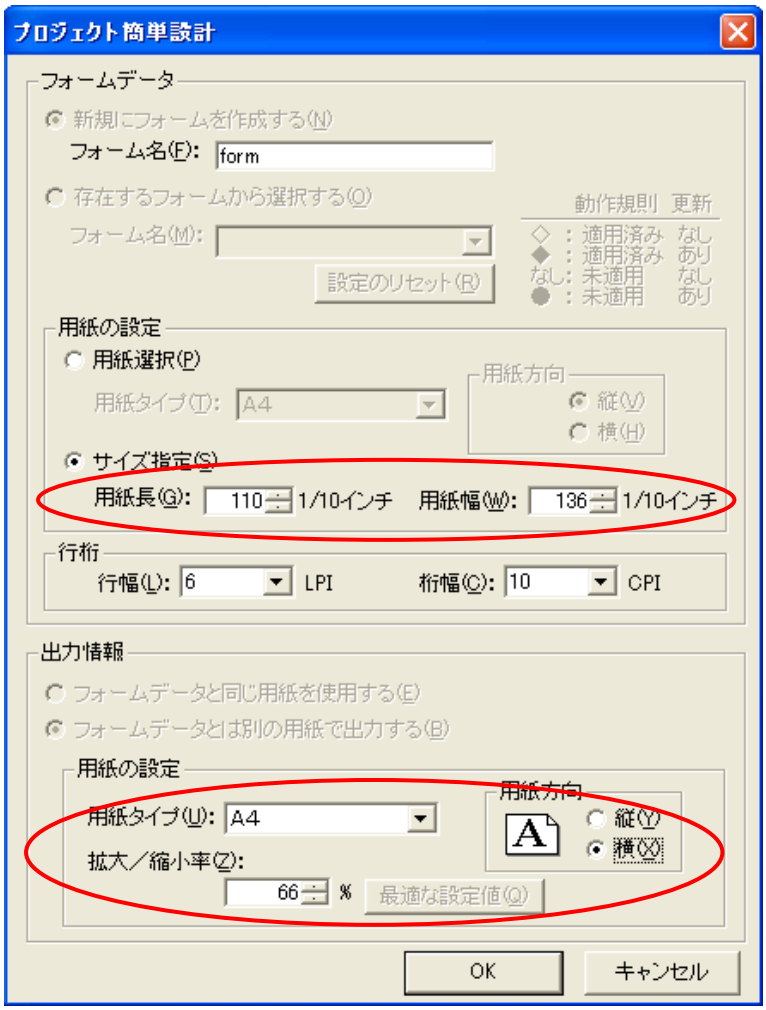


© NEC Corporation 2025

4.1.2　連続紙帳票をカット紙に出力したい場合

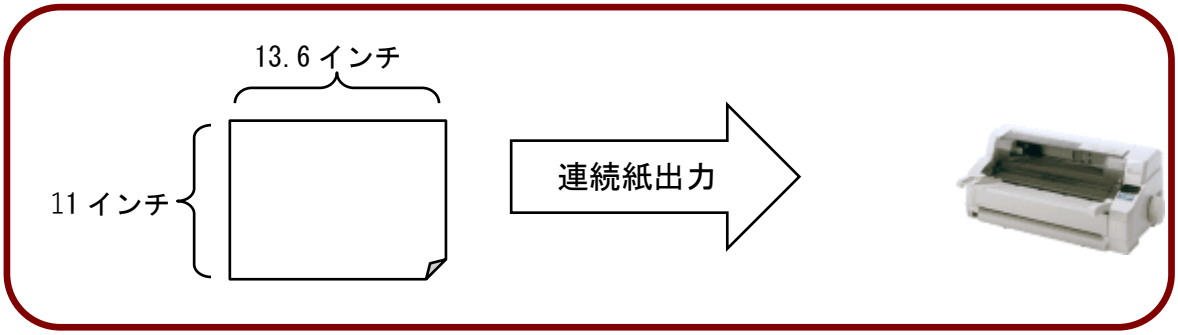


【帳票設計時の設定】
プロジェクト簡単設計で以下の設定を行います。

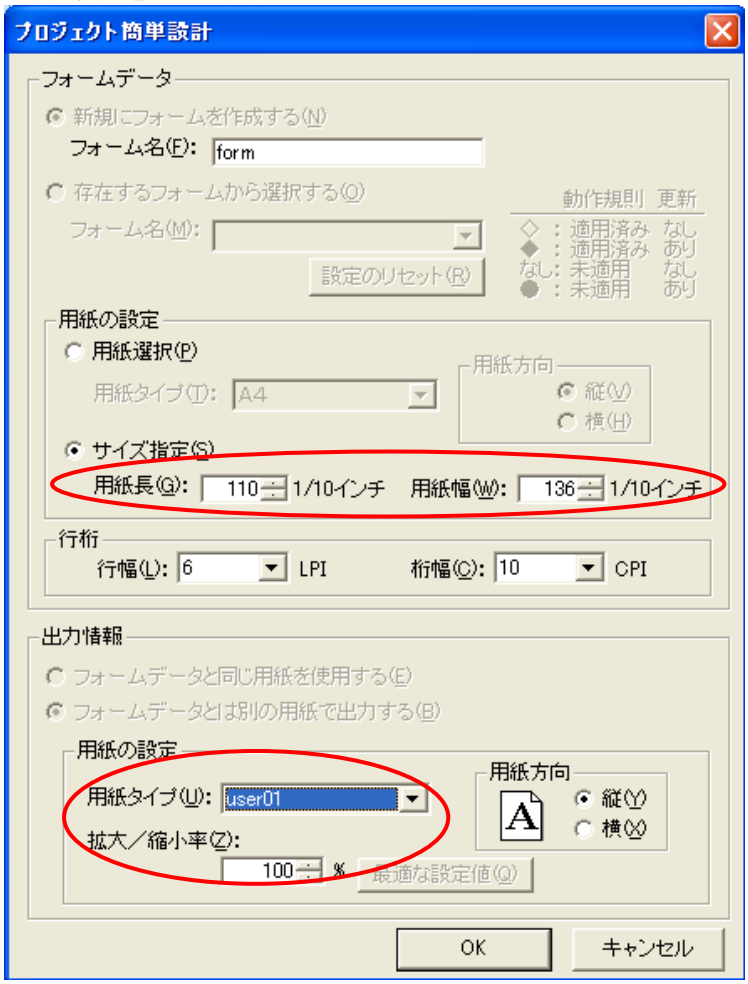


© NEC Corporation 2025

4.1.3　横 13.6 インチ、縦 11 インチの帳票を連続紙プリンタに出力したい場合

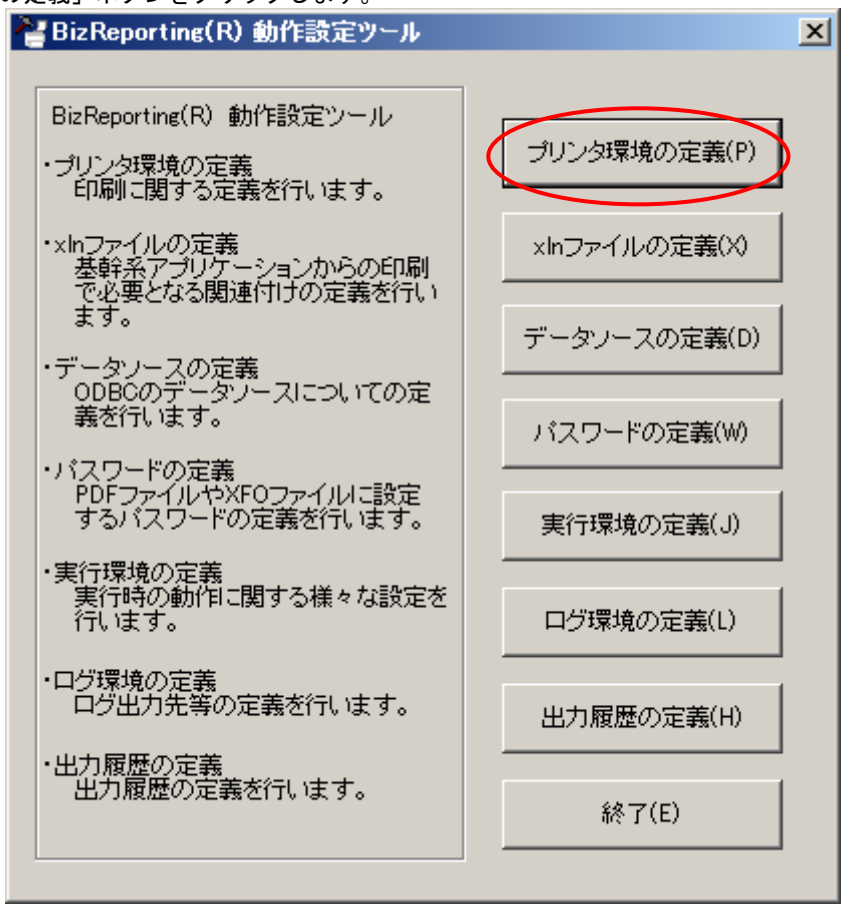


【帳票設計時の設定】
プロジェクト簡単設計で以下の設定を行います。

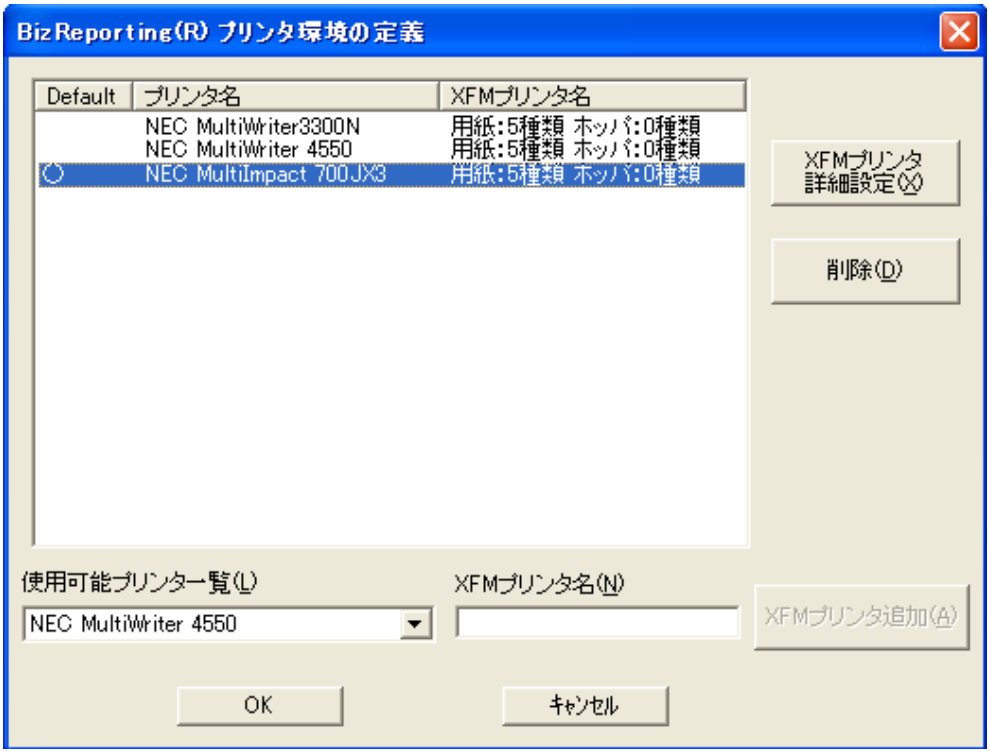


© NEC Corporation 2025

【出力環境の設定】
BizReporting 動作環境で用紙タイプ user01 = 13.6×11 インチ用紙サイズの設定を行います。
①「プログラム」→「BizReporting」の「動作設定ツール」を起動します。
③　プリンタ環境の定義」ボタンをクリックします。

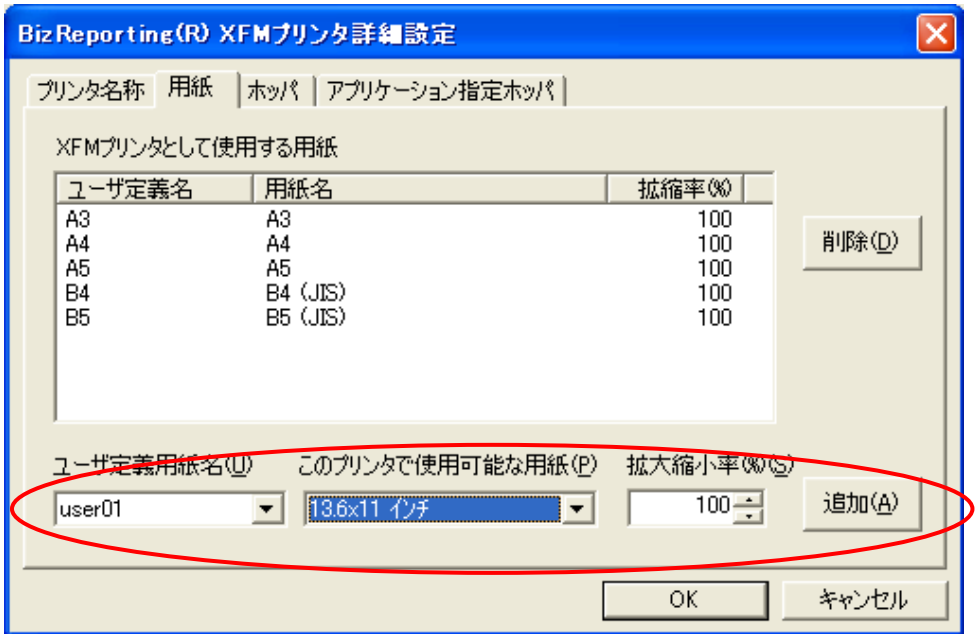


③出力するプリンタをダブルクリックし、詳細設定ダイアログを表示します。

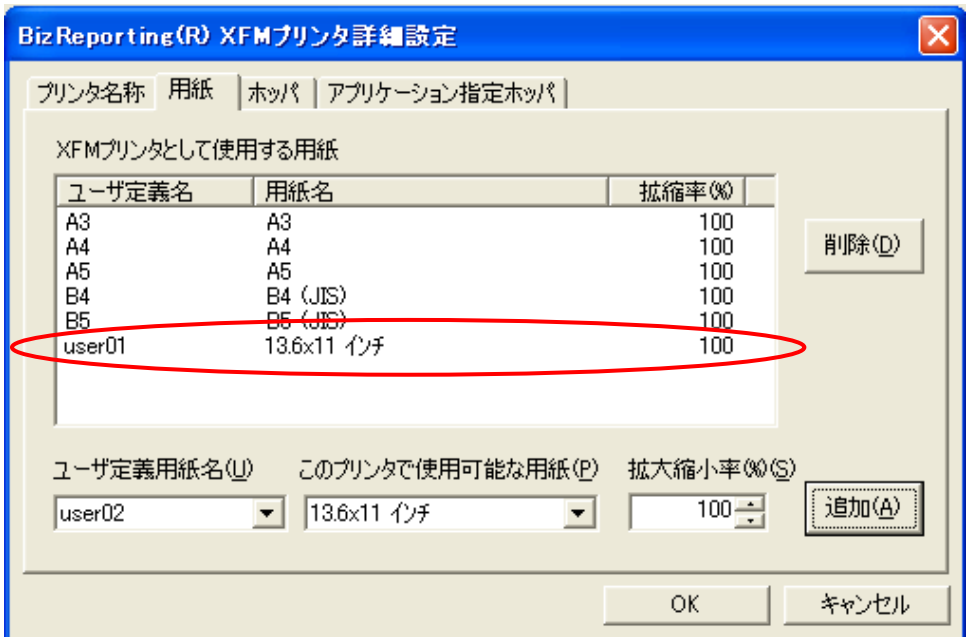


© NEC Corporation 2025

④「用紙」タブで以下の値を設定し、「追加」をクリックします。
ユーザ定義用紙名：user01
このプリンタで使用可能な用紙：13.6×11 ｲﾝﾁ（次頁の「メモ」参照）



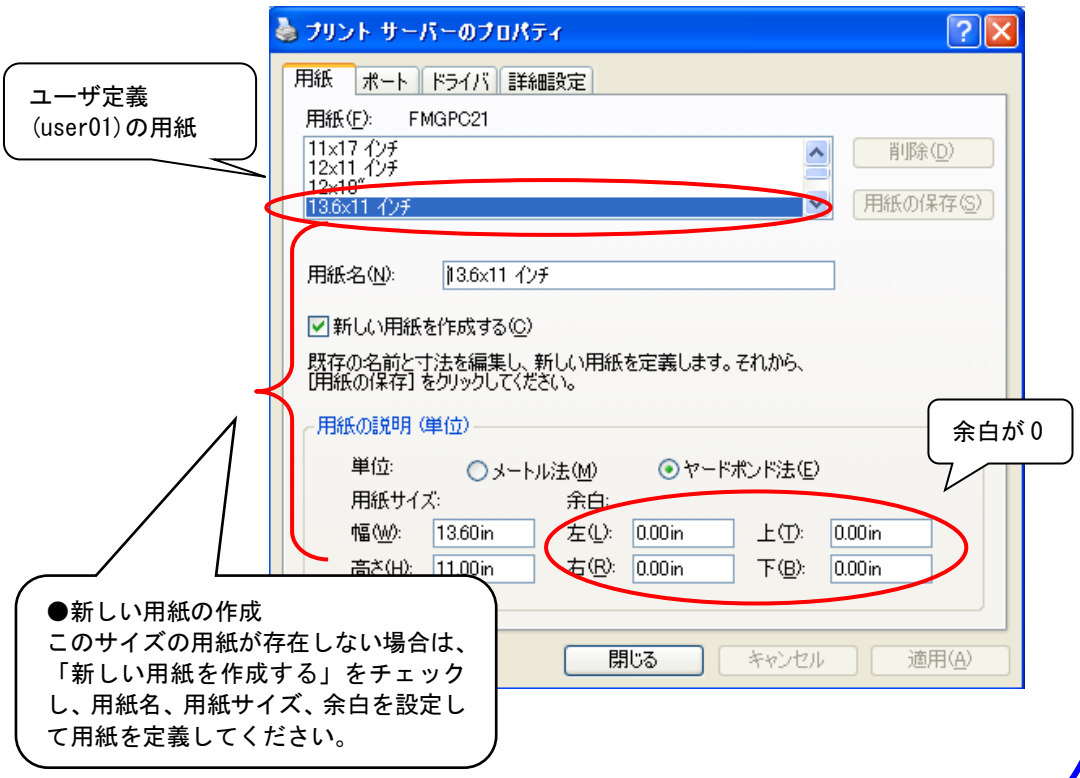
⑤「XFM プリンタとして使用する用紙」の一覧に追加されたことを確認し、「OK」をクリックします。



© NEC Corporation 2025

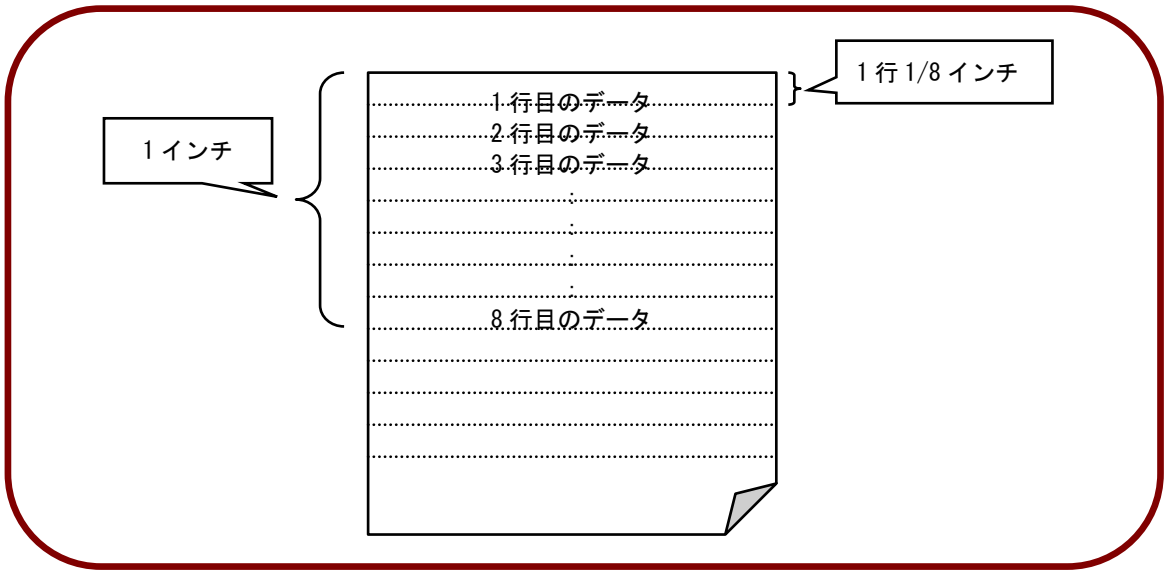
メモ

●ユーザ定義用紙の余白設定
ユーザ定義した用紙の余白が上下左右とも 0 であることを確認してください。
【確認方法】
①[スタート]→[設定]→[プリンタと FAX]を選択します。
②[ファイル]メニューの[サーバーのプロパティ]を選択し、下図「プリントサーバーのプロパティ」ダイアログを表示します。
③「用紙」タブの「用紙」で、ユーザ定義した用紙サイズを選択します。
「用紙の説明」で「余白」が 0 になっていることを確認してください。

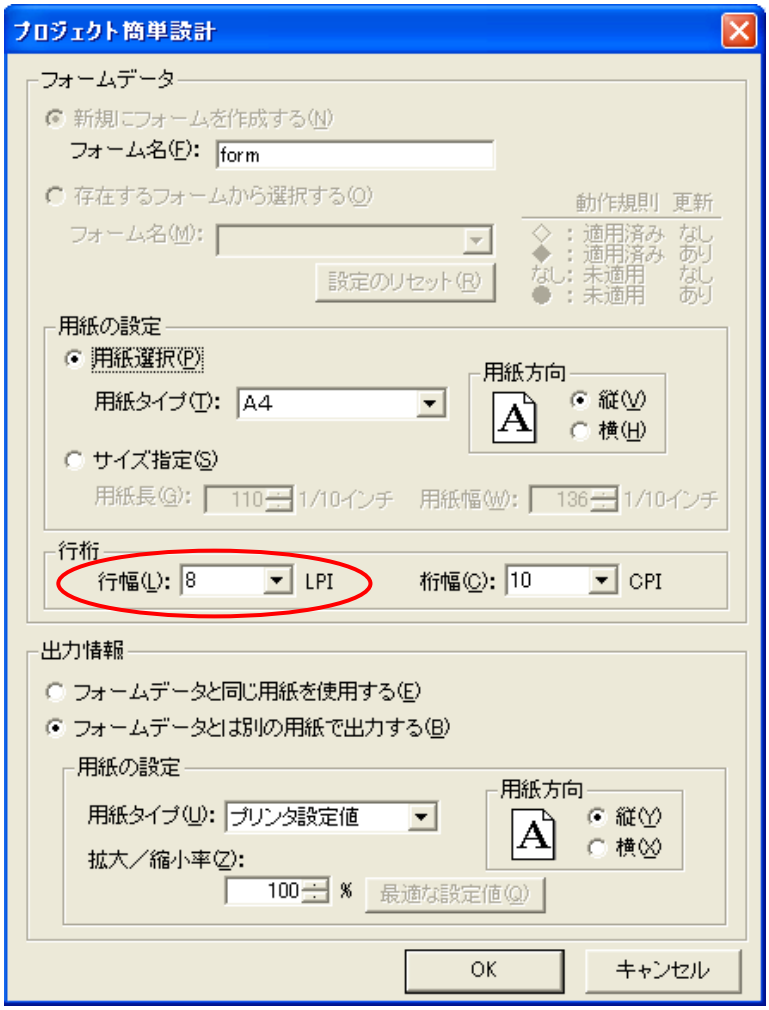


© NEC Corporation 2025

4.1.4　基幹系アプリケーションで 1 行 1/8 インチの帳票を出力したい場合

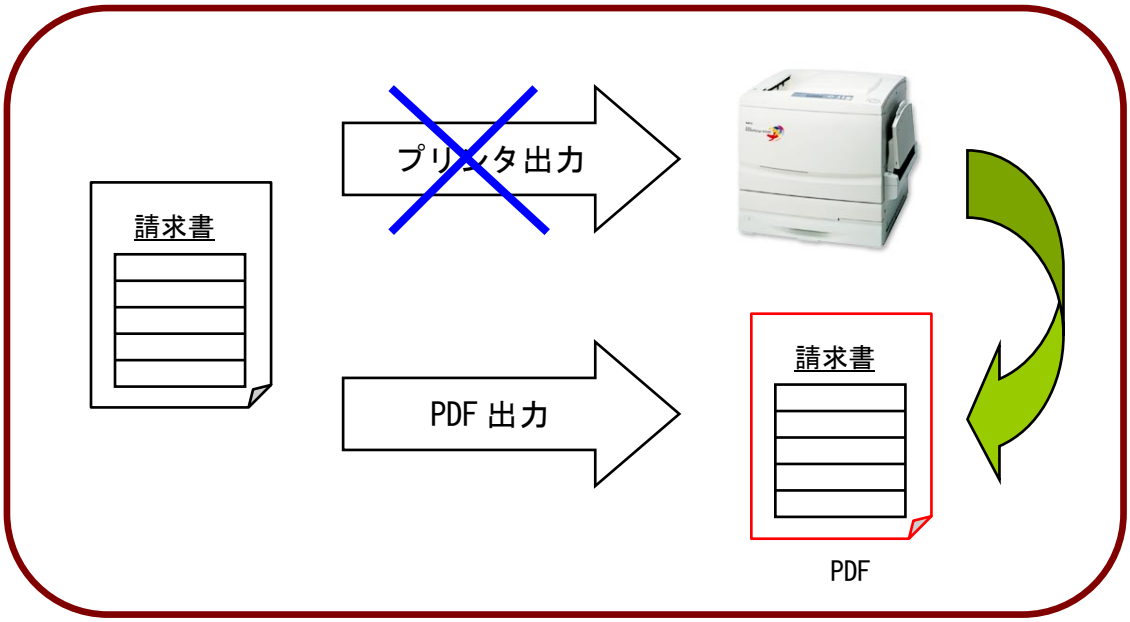


【帳票設計時の設定】
プロジェクト簡単設計で以下の設定を行います。

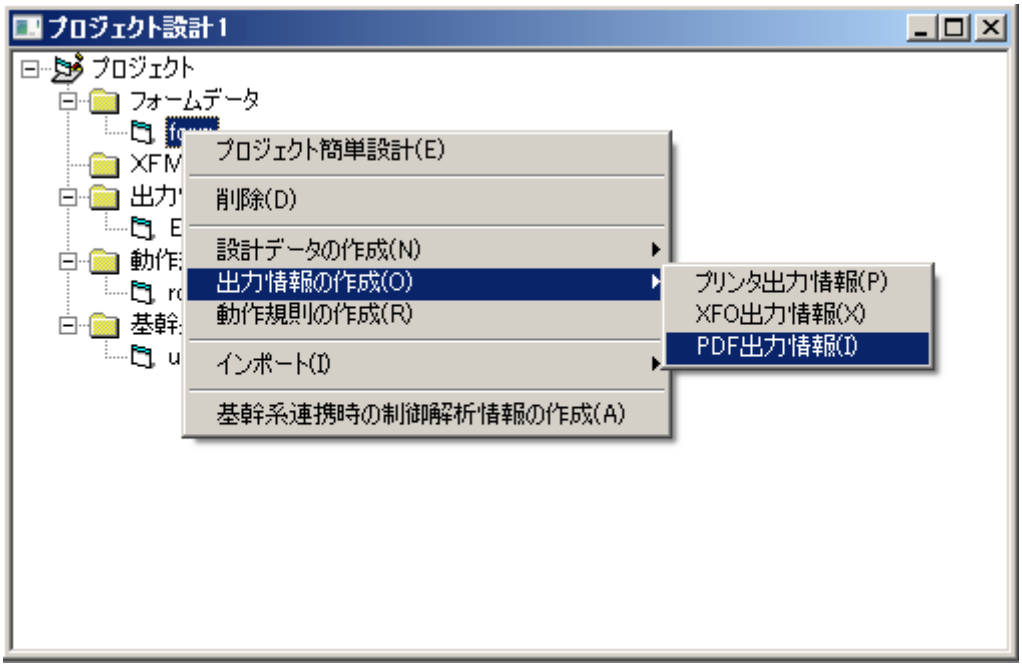


© NEC Corporation 2025

4.1.5　プリンタ出力から PDF 出力に変更したい場合

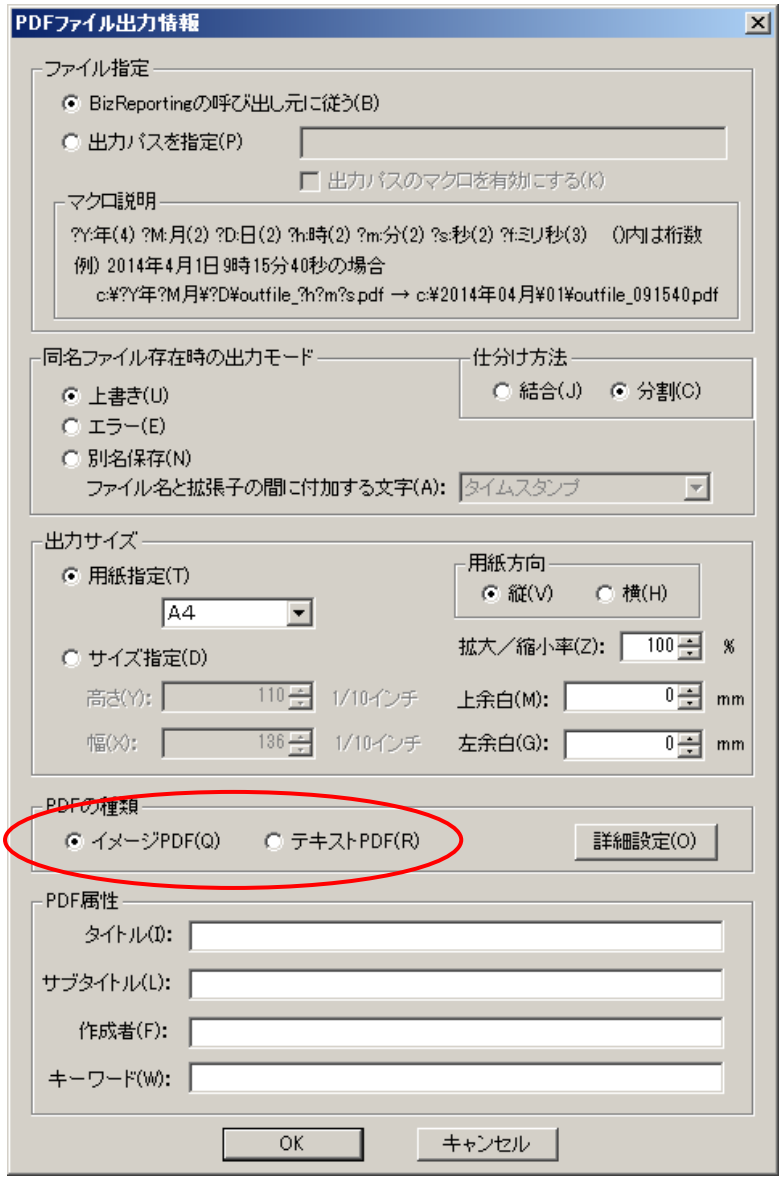


【帳票設計時の設定】
・PDF 出力情報を作成します。
①　プロジェクトウィンドウで右クリックし、「出力情報の作成」で「PDF 出力情報」を選択します。



© NEC Corporation 2025

② PDF ファイル出力情報ダイアログの「PDF の種類」で「イメージ PDF」か「テキスト PDF」を選択し、「OK」をクリックします。

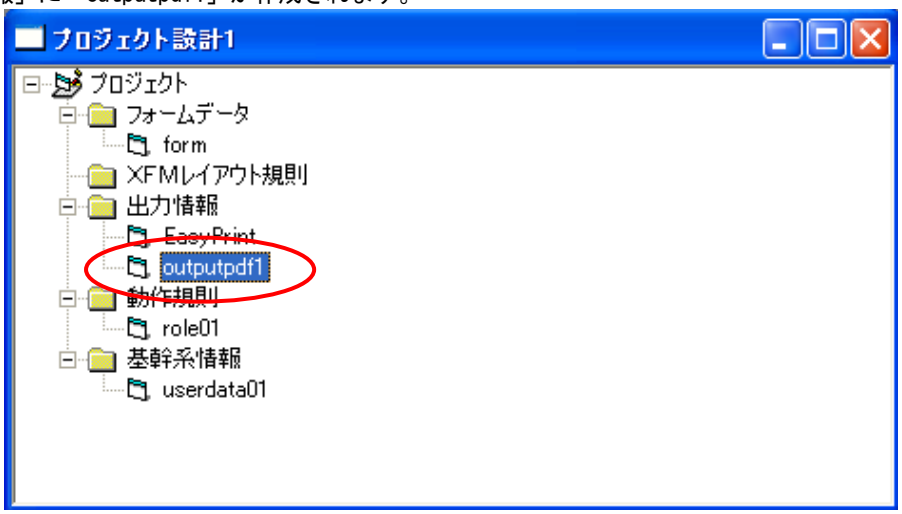


メモ

●イメージ PDF とテキスト PDF について
イメージPDFファイルは印刷イメージの１ページを画像としてPDFファイルの1ページに貼り付ける方式のPDF形式ファイルです。
テキストPDFファイルはテキスト検索・抽出の可能なPDF形式ファイルです。
(注)テキスト PDF を利用するには、別途有償ライセンス（PDFlib）が必要です。
PDFlib 購入の際は NEC 営業にご相談ください。

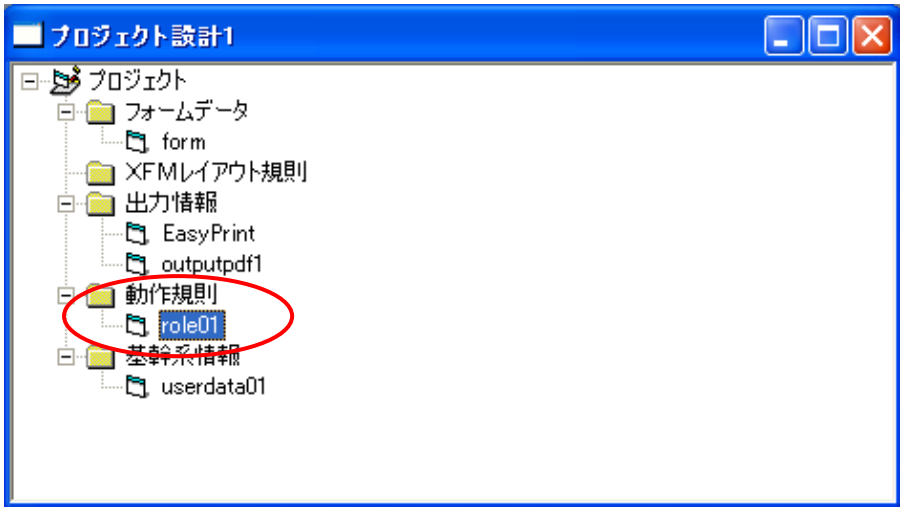
© NEC Corporation 2025

③　「出力情報」に「outputpdf1」が作成されます。

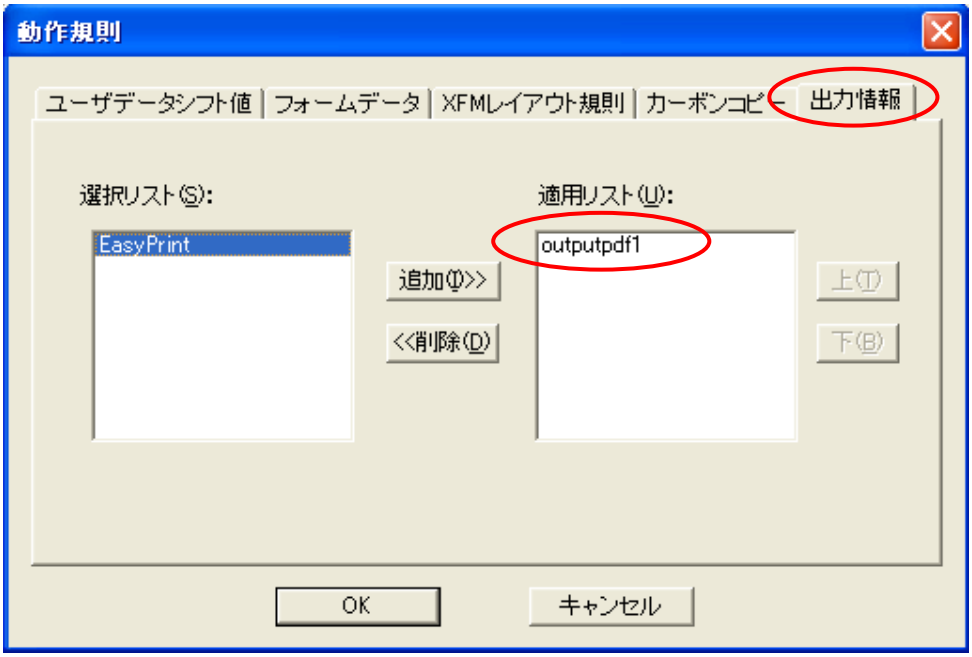


・動作規則に PDF 出力情報を追加します。

①　「動作規則」で「role01」をダブルクリックし、動作規則ダイアログを開きます。



②　「出力情報」タブで「適用リスト」から「EasyPrint」を削除して「選択リスト」の「outputpdf1」を追加し、「OK」をクリックします。



© NEC Corporation 2025

4.2 環境構築チェックシート

「2 環境構築編」で BizReporting の設定を行った後、設定漏れをチェックするためのチェックシートです。
BizReporting 設定後、本チェックシートを用いてすべての項目にチェックができることを確認してください。

●ACOS-2/ACOS-4 版
・オンラインプリントステーション経由

チェック	内容	参照
□	BizReporting デフォルトプリンタの設定を行いましたか？	2.2.1 デフォルトプリンタの設定
□ □ □	xln ファイルの設定を行いましたか？ ・対象機種の設定が BizReporting プリンタの設定と適合していますか？ ・XFM ファイルのパスは正しいですか？ ・XFM ファイルのパスにネットワークドライブを指定していませんか？	2.2.2 xln ファイルの設定
□ □	システム環境変数「SYSFOL」の設定を行いましたか？ ・SYSFOL に登録したパスは正しいですか？ ・SYSFOL のパスはネットワークドライブを指定していませんか？	2.1.1 システム環境変数 SYSFOL の確認
□	オンラインプリントステーション(ETOS)の運用管理ツールで通信リソースが「接続中」となっていますか？	2.3 OPS(オンラインプリントステーション)
□ □	COBOL アプリケーション実行環境の設定を行いましたか？ ・論理プリンタ設定時、プリンタ機種名に移行前のプリンタを設定しましたか？（一覧に機種名が表示されない場合は代替機を設定しましたか？） ・以下のサービスは開始されていますか？ ・AP Printing System Print Service ・AP Printing System Server Service ・AP Printing System Spool Manager	2.4.1 論理プリンタの設定 2.4.2 サービスの開始
□ □	BizReporting プリンタの設定を行いましたか？ ・COBOL アプリケーション実行環境で設定した論理プリンタを選択しましたか？ ・ネットワーク共有プリンタを出力先に指定していませんか？	2.4.3 BizReporting プリンタの設定
□	XFM ファイルの「基幹系連携時の制御解析情報」で設定した「プリンタタイプ」と移行前のプリンタが適合していますか？	3.5 基幹系情報の設定

© NEC Corporation 2025

・ETOSJX 経由

チェック	内容	参照
□	BizReporting デフォルトプリンタの設定を行いましたか？	2.2.1 デフォルトプリンタの設定
□ □	xln ファイルの設定を行いましたか？ ・対象機種の設定が BizReporting プリンタの設定と適合していますか？ ・XFM ファイルのパスは正しいですか？ ・XFM ファイルのパスにネットワークドライブを指定していませんか？	2.2.2 xln ファイルの設定
□	システム環境変数「SYSFOL」に登録したパスは正しいですか？	2.1.1 システム環境変数 SYSFOL の確認
□ □ □ □ □	ETOSJX の DCS プリンタの設定を行いましたか？ ・BizReporting プリンタと同じプリンタを設定しましたか？ ・プリンタ言語タブで「N5200 系コード」を選択しましたか？ ・プリンタ言語タブの「障害通知」で「通知しない」を選択しましたか？ ・プリンタ言語タブの詳細設定で「プリンタ機種名」に「BizReporting(ページ系)」または「BizReporting(シリアル系)」を選択しましたか？ ・排出方法タブの「プリンタ監視」で「監視する」を選択しましたか？ ・プリンタサービスを開始しましたか？	2.5.1 DCS プリンタの設定
□ □	BizReporting プリンタの設定を行いましたか？ ・ETOSJX の DCS プリンタと同じプリンタを出力先のプリンタに設定しましたか？ ・出力先のプリンタに「Default」を選択していませんか？	2.5.2 BizReporting プリンタの設定
□	XFM ファイルの「基幹系連携時の制御解析情報」で設定した「プリンタタイプ」と移行前のプリンタが適合していますか？	3.5 基幹系情報の設定

●Windows 版

チェック	内容	参照
□	BizReporting デフォルトプリンタの設定を行いましたか？	2.2.1 デフォルトプリンタの設定
□ □	xln ファイルの設定を行いましたか？ ・対象機種の設定が BizReporting プリンタの設定と適合していますか？ ・XFM ファイルのパスは正しいですか？ ・XFM ファイルのパスにネットワークドライブを指定していませんか？	2.2.2 xln ファイルの設定
□ □	システム環境変数「SYSFOL」の設定を行いましたか？ ・SYSFOL に登録したパスは正しいですか？ ・SYSFOL のパスはネットワークドライブを指定していませんか？	2.1.1 システム環境変数 SYSFOL の確認
□ □	COBOL アプリケーション実行環境の設定を行いましたか？ ・論理プリンタ設定時、プリンタ機種名に移行前のプリンタを設定しましたか？（一覧に機種名が表示されない場合は代替機を設定しましたか？） ・以下のサービスは開始されていますか？ ・AP Printing System Print Service ・AP Printing System Server Service ・AP Printing System Spool Manager	2.4.1 論理プリンタの設定 2.4.2 サービスの開始
□ □	BizReporting プリンタの設定を行いましたか？ ・COBOL アプリケーション実行環境で設定した論理プリンタを選択 しましたか？ ・ネットワーク共有プリンタを出力先に指定していませんか？	2.4.3 BizReporting プリンタの設定
□	XFM ファイルの「基幹系連携時の制御解析情報」で設定した「プリンタタイプ」と移行前のプリンタが適合していますか？	3.5 基幹系情報の設定

© NEC Corporation 2025